

## 第28回 文献解題

「文献解題」では今回取り扱った文献を中心に紹介しておきたい。その文献の内容を目次を中心に紹介し、必要に応じてコメントを付記した。「邦文文献」と「英文文献」を取り扱った。なお、巻末にも「参考資料」を作成した。全体的なものはそちらを参考にしてもらい。

フランケル／田中治男訳『国際関係論』（新版）東京大学出版会、1980年  
10月

日本語版への序文

序文

第I章 国際関係についての考え方

第II章 国家（1）

第III章 国家（2）

第IV章 国家以外の活動単位

第V章 外交政策の形成

第VI章 国家間の相互作用と国力

第VII章 国家間の相互作用の手段と技術

第VIII章 国際体系

第IX章 国際社会を維持するための手段と機関

第X章 国際組織

第XI章 現在および将来の諸問題

文献案内

訳者あとがき

索引

\* *International Relations in a Changing World* (1979) の翻訳。

小塩節「文化外交の先駆者たち」（『日本及日本人』通巻第1592号）日本及日本人、1988年10月

1 廢墟から

- 2 フンボルトとH. シュリーマン
- 3 第1回遣欧使
- 4 ベルリンへの留学生たち
- 5 ベルリンの「日本基金」
- 6 日独文化交流のために

ジョセフ・S・ナイ、Jr.／久保伸太郎訳『不滅の大国アメリカへ』読売新聞社、1990年10月

はしがき

序章 衰退を巡る論争

第1部 過去における力

第1章 力の移行

第2章 イギリスからの類推

第3章 戦後の力の均衡

第2部 新たな挑戦国は？

第4章 共産圏の挑戦国

第5章 同盟国の挑戦者

第3部 新たな目標

第6章 力の変化

第7章 国内の課題

第8章 世界の将来とアメリカの選択

訳者あとがき

\* *Bound To Lead: The Changing Nature of American Power* (1990) の翻訳。

高柳先男『パワー・ポリティクス』有信堂高文社、1991年7月

はしがき

1章 闘争としての政治

2章 三つの世界像

3章 西欧国家体系の構造と変容

- 4章 国家の行動
  - 5章 勢力均衡と集団安全保障
  - 6章 抑止の論理
  - 7章 戦争
  - 8章 国際組織の増殖
- 初出一覧

孫崎享『日本外交 現場からの証言』中央公論社、1993年6月

はじめに

- 第1章 外交の第一歩は価値観の違いの認識
- 第2章 親善が外交の中心でいいか
- 第3章 情報収集・分析
- 第4章 新しい外交政策の模索
- 第5章 政策決定過程
- 第6章 外交交渉

加藤淳平『文化の戦略』中央公論社、1996年12月

まえがき

- 第1章 日本人の名前のラテン文字表記
- 第2章 世界の文化の現在、そして日本
- 第3章 日本の文化交流の種々相
- 第4章 よい交流とわるい交流
- 第5章 文化の戦略を考える

むすび

参考書目

西山教行「文化外交の黎明期に関する考察」(『L' Aarche』第8号、明治大学大学院仏文学研究会、1997年11月)

文化外交とはなにか

- 1 キリスト教宣教と言語普及

- 2 植民地経営における言語普及
- 3 言語普及機関の設立
- 4 言語普及の理念

結論

青木暢「アメリカの Public Diplomacy について」(『札幌学院大学人文学会  
紀要』第 62 号、1998 年 3 月)

はしがき

- I アメリカの外交の変遷
- II Public Diplomacy とは
- III Public Diplomacy を担う米国広報庁
- IV Public Diplomacy を支える非政府機関

あとがき

花井等『新外交政策論』東洋経済新聞社、1998 年 5 月

まえがき—知的アリーナの形成

序 章 21 世紀の外交政策

第 1 章 外交政策序論

第 2 章 国益と外交政策の目的

第 3 章 外交政策の決定

第 4 章 外交政策決定の段階と類型

第 5 章 外国政策の手段

第 6 章 比較外交政策

結 章 国際関係モデルの構築

索引

青木保「いまこそ多国間文化外交を」(『中央公論』第 113 巻第 9 号、中央公  
論社、1998 年 8 月)

- 1 バランスある「相互性」の認識
- 2 貧困な対外文化政策

- 3 「多国籍文化ビジョン」
- 4 「文化政策」という課題
- 5 「東京会議」の開催を

田尻彰編『ソフト・パワー・ニッポン』（日本の源流 '99）電通総研、1998年12月

#### 第1部

福川伸次、ソフトパワーで生きる日本

1999年、日本へのメッセージ

ポール・ケネディ、歴史に希望を見だし、日本の長所を活かす

中西輝政、思慮深い経済大国が真の活力をもたらす

川勝平太、世界から憧れる文化の創造

#### 第2部

第1章 21世紀への挑戦

第2章 ソフトパワーの時代へ

第3章 人間への投資

【個人の投資】

【企業の投資】

【行政の投資】

浜野保樹「日本アニメーション興国論」（『中央公論』第114巻第4号、中央公論新社、1999年4月）

東京西部は「アニメーションのハリウッド」

新ジャポニズム

二人のパイオニア

ディズニーにないものを求めて

アニメーションのゴールドラッシュ

デジタル化の波

アメリカの逆襲

崩れつつある日本優位

眞鍋俊二『現代日本外交論』関西大学出版部、1999年4月

まえがき

序 論 東方・対米関係の相対化のなかの日本外交

第1部 冷戦の克服を目指す北方関係

第2部 戦争責任問題の克服を目指す西方関係

第3部 新外交への契機としての南方関係

結論にかえて ポスト冷戦世界と日本の課題

あとがき

付録「関連略年表」

文化庁編『文化庁月報』（特集・メディア芸術の現状と可能性）（通巻370号）

ぎょうせい、1999年7月

滝川精一、メディア芸術に期待すること

河口洋一郎・鈴木伸一・浜野保樹・田中通孝、【座談会】メディア芸術の  
現状と可能性

インタビュー 宮本茂

おかだえみこ、メディアの中のアニメーション

柏木博、メディアと表現の変化

芸術文化課、メディア芸術への取組み

芝崎厚士『近代日本と国際文化交流—国際文化振興会の創設と展開』有信堂

高文社、1999年8月

第1章 緒論

第2章 創設前史—「文化的使命」と「国民外交」

第3章 誕生—「国際文化事業局」から国際文化振興会へ

第4章 草創期—「国際文化事業」の模索（1934-37年）

第5章 日中戦争期—「国際文化事業」から「対外文化事業」へ（1937-41年）

第6章 太平洋戦争下—「対外文化事業」から「大東亜文化事業」へ（1941-41年）

年)

第7章 戦後の「反省」—「国際文化事業」の復活から「国際文化交流」へ

第8章 結論

シルヴァーマン／天野知香・松岡新一郎訳『アール・ヌーヴォー』青土社、  
1999年12月

アール・ヌーヴォーの変容—1889 - 1900

第1部 ギンクールの遺産

第2部 波に揺れ而して沈まず—ベル・エポックと世紀末

第3部 ロココ・リヴァイヴァルと工芸のモダニズム—第三共和制期のア  
ール・ヌーヴォー

平野健一郎『国際文化論』東京大学出版会、2000年1月

第1章 はじめに

第2章 国際関係における文化

第3章 文化の変化

第4章 文化の接触と変容—文化触変

第5章 文化触変への「抵抗」

第6章 文化触変の結果

第7章 抵抗としての文化触変

第8章 文化触変論から見た近代アジア・日本の文化

第9章 文化変容と文化交流

第10章 おわりに

内閣府／財団法人日本総合研究所『国際経済協力の効率化のための官民パー  
トナーシップの検討調査』報告書、2000年3月

第1章 国際経済協力の実施にあたって—我が国の「国益」の考え方

第2章 我が国の将来ビジョンと国家戦略

第3章 今後の国際経済協力に求められる視点

第4章 国際経済協力の効率的な実施のための官民パートナーシップ

## 第5章 有効な国際経済協力の実施に向けての課題

日下公人『二十一世紀、世界は日本化する』PHP 研究所、2000年3月

まえがき

第1章 二十一世紀、世界は日本化する

第2章 日本の国力を採点しよう

第3章 二十世紀は日本の時代であった

第4章 二十一世紀、世界の七大潮流

第5章 先端国はかくて交代する

第6章 世界は江戸化、島国化

少し長いあとがき

『中央公論』（研究：滑落する日本製アニメ・マンガ）（第115巻第10号）（中央公論新社、2000年9月）

岡田斗司夫「日本のクリエイターが消滅する前に」

浜野保樹「質・量みの日本製アニメ」

黄健和「希望はネットに移った〈台湾〉」

ヴィラット・ティーカプティサクル「啓発と破壊〈タイ〉」

ダヴィデ・カステッラツィ「日本ブームの牽引車〈イタリア〉」

ドミニック・ヴェレ「普通の文化消費財へ〈フランス〉」

アントニオ・マーティン「歴史的危機〈スペイン〉」

文化庁編『文化庁月報』（特集・映画芸術・メディア芸術の振興）（通巻392号）ぎょうせい、2001年5月

尾山眞之助、映画芸術・メディア芸術の振興について

高野悦子、独立行政法人の実施に思う

茂木正男、地域における映画活動の活性化にむけて

河口洋一郎、進化するメディア芸術—成長、進化、遺伝する情感芸術へ

文化庁文化庁芸術文化課、映画芸術の振興施策

文化庁文化庁芸術文化課、メディア芸術の振興施策

竹中平蔵・袖川芳之／フジタ未来経営研究所編著『ポストIT革命『ソフト  
パワー』日本復権への道』実業之日本社、2001年6月

第1章 日本ソフトパワー宣言

第2章 世界を動かす巨大パワー

第3章 日本の戦略提言—希望と未来

第4章 座談会・輝ける日本へ—日本経済に求められている四つのソフト  
パワー

文化庁編『文化庁月報』（特集・国際文化交流：人と組織のネットワーク）（通  
巻397号）ぎょうせい、2001年10月

村田直樹、持続的な国際文化交流を目指して

インタビュー 新国立劇場芸術監督 栗山民也氏に聞く

三浦定俊、イクロムを通じた文化財研究のネットワーク

梶谷亮治、奈良国立博物館のける国際交流

文化庁長官官房国際課、二つの国際交流年—英国における「Japan2001」

と日本におけるイタリア2001年

インタビュー 在日豪州大使館文化担当官 キャサリン・フニョー氏に聞

く 文化アタッシュのネットワーク

平田オリザ『芸術立国論』集英社、2001年10月

序章 芸術の公共性とは何か

第1章 地域における芸術文化行政

第2章 経済的側面から見た芸術文化行政

第3章 教育と芸術文化行政

第4章 文化権の確立

第5章 文化行政の未来

終章 芸術の未来

文化庁編『文化庁月報』（特集・文化芸術振興基本法）（通巻401号）行政、

2002年2月

高塩至、【提言】新世紀の文化芸術の振興に向けて

斉藤斗志二、【論文】文化芸術の大輪の花を咲かせたい～文化芸術振興基本法の制定に当たって～

野村萬、「文化芸術振興基本法」の制定

政策課、【資料】文化芸術振興基本法案に対する附帯決議

政策課、主な国会審議の概要

浜田和幸『日本にとって「国益」とは何か』祥伝社、2002年6月

序章 何が「国益」なのか—「ナショナル・インタレスト」に対する日・米・中、それぞれの意識

1章 かくて一敗地にまみれた日本の国益—アメリカはこうして日本の「戦闘機自主開発」を潰した

2章 戦争で大儲けするアメリカの「国益ビジネス」—政策の裏こうごめく「スポンサー」の正体を暴く

3章 国益を左右する「情報戦争」の行方—世界が競う盗聴、傍受、攪乱の手口と戦略

4章 国益をかけたアメリカの「司法戦略」—一方的な「ルール」と「システム」を押しつける大国の傲慢

5章 アメリカに牙をむく中国の「国益論」—軍備増強と経済成長で目論む「世界の頂点」への野望

三井秀樹『メディアと芸術』集英社、2002年7月

序 芸術とメディアの新しい波

第1章 IT革命は産業革命を超えた

第2章 デジタル・メディアとメディア・アート

第3章 21世紀のメディアと芸術文化の行方

第4章 デジタル・メディアと感性

あとがき

参考文献

松村正義『新版 国際交流史—近現代日本の広報文化外交と民間交流』地人館（発売：すずさわ書店）、2002年7月

プロローグ 外交史から国際交流史へ

第1章 幕末・明治初期の西欧文明の摂取

第2章 明治前期の対外広報と国際進出

第3章 日清戦争から義和団事変へ

第4章 黄禍論との闘い

第5章 いわゆる「民間外交」時代の到来

第6章 広報文化外交のための公的組織化

第7章 国際的孤立化からの文化的回避

第8章 太平洋戦争期の国際交流

第9章 戦後の国際交流の再出発と発展

エピローグ 国際化から地球市民へ

上野征洋編『文化政策を学ぶ人のために』世界思想社、2002年8月

第1部 「文化政策」とは—その意義とアプローチ

第2部 芸術文化と文化政策—「幸せ」の追求

第3部 行政と文化政策—成熟社会への政策形成

第4部 社会意識の変容と文化

第5部 世界の文化政策—グローバルなアプローチ

ジョセフ・S・ナイ、Jr.／山岡洋一訳『アメリカへの警告』日本経済新聞社、2002年9月

はじめに

謝辞

第1章 アメリカという巨像

第2章 情報革命

第3章 グローバル化

第4章 アメリカ国内の動向

## 第5章 新しい時代の国益

解説

原注

\* *The Paradox of American Power* (2002) の翻訳

高島肇久「国民に後押しされる外交を推進」(『世界週報』第83巻第33号、時事通信社、2002年9月)

もっと情報を出した方が理解される

外交は国民みんなのもの

碓氷尊「グローバル・ガバナンスとパブリック・ディプロマシー」(『日本交渉学会誌』第15巻第2号、2003年5月)

- 1 Governance, Regimes と Diplomacy: 1 概念化の新潮流
- 2 パブリック・ディプロマシーと交渉学の課題
- 3 トラック2ディプロマシーにおける非政府アクター —知的共同体と市民社会組織
- 4 民間企業とトラック2ディプロマシー

『外交フォーラム』(特集:「日本ブランド」—国家の魅力を考える) 通巻174号、2003年1月

小島明「新時代の国益の再定義と外交の新パラダイム」

高階秀爾・福川伸次・藤井宏昭「鼎談 日本人はソフトパワーをもっと活用すべき」

糖沢和夫「『文化交流』徒然草」

アルフォンソ・アントニオ・ポルティージョ「特別寄稿 なぜいま、黒澤明映画なのか」

上野景文「〈一寸解説〉文化人ポルティージョの横顔」

検証 世界は日本のクールさが好き

ウォーラウト・ウォーラウィッタヤノン「①タイ 『イケてる』マンガはビジネスになる」

ウィリアム・コールドレーク「②豪州 普遍的な『ハイ・カルチャー』  
は共通の記憶として」

丁寧「③中国 エンターテインメントの覇者も、韓国の追い上げに」

ドミトリー・ユバレーニン「④ロシア 村上春樹ワンダーランド in モ  
スクワ」

新原浩朗「優秀企業から導き出された『寓話』とは」

隈研吾「世界が求める日本建築」

中嶋嶺雄「世界に広がる音楽の輪」

大使館が伝える日本

中臣久「①デンマークでの『プロジェクトX』」

渡辺信之「②中国における日本紹介」

文部科学省編『文部科学時報』（特集・文化芸術の振興について）（通巻 1520  
号）ぎょうせい、2003年1月

河合隼雄「文化芸術の振興について」

事例紹介① 自己表現力を身に付けさせ、生きる力を育てる教育課程の研究  
開発 鹿児島市立伊敷台小学校

事例紹介② 演劇教育をとおして豊かな情操を育成 兵庫県立宝塚北高  
等学校

事例紹介③ 東京芸術大学における新たな取組について 東京芸術大学

事例紹介④ 学校と博物館のよりよい関係づくりを目指して 川崎市立  
博物館

事例紹介⑤ 芸術文化創造の拠点施設としての取組 愛知県長久手町文  
化の家

文化芸術の振興に関する基本的な方針（閣議決定）

文化庁長官官房政策課「文化芸術の振興に関する基本的な方針について」

池上惇・端信行編『文化政策学の展開』晃洋書房、2003年3月

第1部 文化経済学と文化政策学の展開

第2部 文化のひろがりと担い手

第3部 文化マネジメントの諸相

第4部 まちづくり学の確立にむけて

国際交流研究会『新たな時代の外交と国際交流の新たな役割—世界世論形成への日本の本格的参画を目指して—』国際交流基金、2003年4月

第1章 近年の国際環境の変化と日本の課題

第2章 求められる新たな外交と国際交流の新たな役割

第3章 国際交流基金への提言

第4章 外務省と国際交流基金の役割分担及び協力関係について

北山馨「パブリック・ディプロマシー —アメリカの外交戦略—」（『レファレンス』特集：9・11その後その2、第53巻第4号、国立国会図書館調査及び立法考査局、2003年4月）

はじめに

I パブリック・ディプロマシーとは

II アメリカのパブリック・ディプロマシーの歴史

III 国務省の体制

IV 国務省以外の担い手と監視機関

V 9・11以後のパブリック・ディプロマシー

VI 今後の論点

おわりに

ダグラス・マッ格雷イ／神山京子訳「〈ナショナル・クールという新たな国力〉世界を闊歩する日本のカッコよさ」（『中央公論』第118巻第5号、中央公論新社、2003年5月）

ジャパニーズ・クール

ポケモン・ヘゲモニー

日本のポストモダン・ポップ

メディアばかりでメッセージなし

薬師寺克行『世界の外交』岩波書店、2003年8月

国民性と国際政治—まえがき

国際政治のパラダイム—プロローグ

I 世界の外交

1章 アメリカの外交

2章 ソ連・ロシアの外交

3章 中国の外交

4章 欧州の外交

5章 中東の外交

6章 小国の外交

7章 トルコの外交

II 日本の外交

8章 近代日本の弁明と反論

9章 日本の外交

10章 近代日本の進路と指針

出典を中心とす注

冷戦終結後の国際関係〈年表〉

ジェフ・バーグランド『日本から文化力』現代書館、2003年10月

まえがき

第1章 「Sailence」って何？

第2章 大文字の文化、小文字の文化

第3章 日本人は懸命にコミュニケーションをとる

第4章 「自然」「時間」「人間」にどうかかわるかで文化が違う

第5章 現実の一つだけではない

第6章 目に見える文化

第7章 目に見えない文化

第8章 猫も杓子も「アイデンティティ」というけれど

第9章 異文化をステレオタイプで見る怖さ

第10章 異文化へのアプローチから生まれるもの

第11章 観察する、真似をする、常識が変わる「異文化のDIE」

あとがき

参考文献

小風秀雅代表『近代日本と国際社会』放送大学教育振興会、2004年3月、

小風秀雅「まえがき」

小風秀雅「1 開港と不平等条約—欧米外圧の再検討」

ジョン・グリーン「2 天皇の外交儀礼と国際認識」

小風秀雅「3 交通革命と東アジア—香港・上海・横浜」

吉良芳恵「4 対日外交の担い手—英仏外交官と情報収集」

井川克彦「5 自由貿易と国益」

小風秀雅「6 アジアの国際秩序と日本」

井川克彦「7 蚕糸業と世界市場」

本宮一男「8 海外情報戦略の展開」

小風秀雅「9 憲法発布と国際社会」

吉良芳恵「10 日本文化の国際化—ジャパノロジーの誕生」

小風秀雅「11 日清戦争と20世紀の世界秩序」

季武嘉也「12 大日本帝国の完成と第一世界大戦」

季武嘉也「13 ワシントン体制と日米対立の予感」

本宮一男「14 経済外交の展開」

小風秀雅「15 戦間期の日中関係」

参考文献

近代史にかかわる史（資）料の保存機関リスト

索引

山口裕美『Cool Japan: the exploding Japanese contemporary arts』ビー

エヌ・エヌ新社、2004年5月

第1章 クール・ジャパン／日本の文化力

第2章 日本の現代アートに広がるクール

第3章 小さいもの・かわいいもの・ファンシーなものが好き

- 第4章 歴史から見た日本アート／庶民の目利きパワー
- 第5章 笑いアート
- 第6章 失われた10年
- 第7章 未来への疾走

『外交フォーラム』（特集：クール・ジャパン—国力の根源に迫る）通巻第191号、都市出版、2004年6月

- ジョセフ・S・ナイ「日本のソフト・パワー—その限界と可能性」
- 青木保「重層的な『文化力』育む戦略を」
- 杉浦勉／田所昌幸／近藤誠一（鼎談）「日本を天女が舞い降りたくなる国  
に—日本の文化力を高めるには」
- 久保雅一「世界は日本のクールさが好き」
- 小島明「大交流時代における観光の戦略性」
- 島田晴雄「いま必要なのはフレッシュな資本・人材だ」
- 桑田信介「『ニッポンブランド』の輸出拡大をめざして」
- 鈴木美勝「日本文化『固有と融合』の最前線—米国」
- 山口昌子「MANGA熱は真の日本の文化力になるのか—フランス」
- 盧在賢「モノ作りを大切にす精神とマジメさをもつ日本人—韓国」
- 岡真理子「パリ『ひととロボット』展が語りかけたもの」
- クール・ジャパニーズ
- 竹澤恭子「日本人を超えて『表現力』」
- 宮本亜門「日本人だからできること」
- 吉良森子「私のジャポニズム」
- ケイ山田「英国に咲く日本の自然美—大使館から発信する日本の魅力」
- 在ルクセンブルク大使館「和太鼓が奏でる交流のリズム」
- 在フィンランド大使館「北欧っ子は日本のアニメに夢中」

緑ゆうこ『イギリス発日本人が知らないニッポン』岩波書店、2004年8月  
はじめに

【歴史編】ステレオタイプのもとをたどれば

- 1 開国以前—黄金の国からサカサマ国へ
- 2 開国—大ウケ「おとぎの国」
- 3 大英帝国の見た日本—本国向けと日本向けの使い分け
- 4 極東戦争—ハネムーンの終わり
- 5 戦後—「異常な国」から「同じ人間」への長い道のり

【現代編】世界地図にない日本列島

- 1 「おとぎの国」への未練—開国時代のイメージ保存
- 2 戦争の消えないイメージ—21世紀も現在形の戦争
- 3 ニュースになる日本、ならない日本—ウケる日本
- 4 世界の中の日本—日本の位置づけ
- 5 役に立つ外からの国—意識しなかった日本
- 6 誤解のもとをたどれば

あとがき

ジョセフ・S・ナイ／山岡洋一訳『ソフト・パワー』日本経済新聞社、2004年9月

第1章 力の性格の変化

第2章 アメリカのソフト・パワーの源泉

第3章 他の国や組織のソフト・パワー

第4章 ソフト・パワーの活用

第5章 ソフト・パワーとアメリカの外交政策

\* *Soft Power: The Means to Success in World Politics* (2004)の翻訳。

小倉和夫「いわゆる『文化外交国益論を排す 「国際財」の真の価値こそ世界に発信しよう』（『中央公論』第119巻第10号、2004年10月）

文化外交を国益に結ぶつける議論が盛んである。「国家の金をつぎ込みながら、「国益を追求しない議論があるものか」。むろん承知である。しかしその議論守勢の論理ではないか。もはや次の攻勢を探る時代

はたして文化は広報の手段なのか

日本文化を国際財にしよう

多様な具体策をとれ  
国際財を誰が推進すべきか  
政府、財団、そして企業は何ができるか

青木保 『クール・ジャパン』 国家日本の創造を！ (『中央公論』 第 119 巻  
第 10 号、中央公論新社、2004 年 10 月)

「反日感情」にいかに対応すべきか  
「国際公共文化財」としてのスポーツ  
「ソフトパワー」論の検討  
「クールな国と国民のイメージ」の創造  
「冬のソナタ」が巻き起こした旋風

『日経ビジネス』 (特集：日本ブランドの逆襲) 第 1261 号、日経 B P 社、2004  
年 10 月

Part 1 蘇れ AV 大国

ソニー 忘れていた“モルモット”の誇り  
松下電器産業 サムスンは強いが脅威にあらず

Part 2 敗者復活への挑戦

日立製作所 量を捨て実を取るニッチビッグ  
三洋電機 巻き返しの 20 年で中国テレビ首位  
ブランド価値でソニーに迫る サムスンに死角はあるか？

Part 3 ホンダ ブランドは現場が作る

生産・開発 クレージー社員を増産せよ

奥野卓司『日本発イット革命—アジアに広がるジャパン・クール』岩波書店、  
2004 年 12 月

はじめに—それは日本から始まった

- 1 章 イット革命が始まる
- 2 章 イット革命が広がる—東アジアでの日本発ポップカルチャー
- 3 章 イット革命が創られる

## 4章 イット革命のゆくえ

参考文献

あとがき

平野健一郎監修／戦後日本国際文化交流研究会『戦後日本の国際文化交流』  
勁草書房、2005年1月

### I 戦後日本の国際文化交流——概観

第1章 戦後日本の国際文化交流……戦後日本国際文化交流研究会

### II 戦後日本の国際文化交流の主題——主体・対象・関係

第2章 アイデンティティとしての地域——地域文化交流に対する  
国家的関与の日独比較——

第3章 戦後日本における「市民社会」の展開と国際文化交流——  
言説と実態——

第4章 「日本的グローバリズム」のアジア的契機——対アジア文  
化政策における普遍と特殊——

### III 戦後日本の国際文化交流の展開

第5章 リベラルな国際文化交流——「米国の影響」と「アジアへ  
の展開」の交錯——

第6章 グローバル化と市民社会——日本の国際協力NGOの価値変  
容について——

第7章 美術館が「アジア」と出会うとき——福岡アジア美術館の  
設立と展開——

第8章 地域文化協力をめぐる文化触変——ASEAN文化協力に対す  
る域外主体の影響——

第9章 地域統合のなかの国際文化交流——「ヨーロッパ文化政策」  
と対外文化政策——

戦後日本の国際文化交流年表

索引

経済同友会『日本の「ソフトパワー」で「共進化（相互進化）」の実現を』

経済同友会、2005年2月

前書き

エグゼクティブ・サマリー

はじめに

Part I 背景と土台

I 共進化（相互進化）

II ソフトパワー

Part II 具体的な貢献

III 世界、東アジア、そして日本の現状

IV 東アジアにおける平和の創出（東アジア共同体に向けて）

V 世界の繁栄の創出

参考資料(1) : アンケート調査

参考資料(2) : 支援団体活動概要

参考資料(3) : 委員会活動履歴

大濱裕「わが国の国力評価とソフトパワーについて(上)」(『国際金融』第1139号、財団法人外国為替貿易研究会、2005年2月)

はじめに

1 国力の多様性と基盤要素

2 国力評価法—国力評価式事例

大濱裕「わが国の国力評価とソフトパワーについて(下)」(『国際金融』第1140号、財団法人外国為替貿易研究会、2005年2月)

2 国力評価法—国力評価式事例

3 国力基盤とソフト・パワー

おわりに—米国のソフト・パワー—喪失理由とわが国への示唆

神余隆博『国際危機と日本外交—国益外交を超えて』信山社出版（発売：大学図書）2005年2月

第1章 国益と外交

- 第2章 二一世紀はどのような時代か
- 第3章 文明への挑戦
- 第4章 世界的危機の教訓
- 第5章 国益を超える日本外交
- 終章 外交の威信回復

村田晃嗣『アメリカ外交』講談社、2005年2月

はじめに―「最悪の帝国」?

- 第1章 アメリカ外交を見る眼
  - 第2章 建国から大国へ
  - 第3章 この世界大戦―内向的な大国
  - 第4章 冷戦の起源と本格化―超大国の自覚化
  - 第5章 冷戦の変容―ベトナム戦争とデタント、多極化
  - 第6章 新冷戦から冷戦の終焉へ―カーターとレーガン
  - 第7章 ポスト冷戦期―G・H・ブッシュとクリントン
  - 第8章 九・一一からイラク戦争―G・W・ブッシュ外交
  - 終章
- アメリカ外交を読む―文献案内
- あとがき

添谷芳秀『日本の「ミドルパワー」外交』筑摩書房、2005年5月

- 序章 なぜミドルパワー外交か
  - 第1章 戦後日本の再生―吉田路線の深層
  - 第2章 高度成長期の葛藤―吉田ドクトリン再考
  - 第3章 デタント期の日本外交―米中ソ戦略ゲームのはざままで
  - 第4章 非核中級国家論の実践―中曽根外交の実像
  - 第5章 国際安全保障の模索―冷戦後の日本外交
  - 終章 ミドルパワー外交の構想
- 参照文献
- あとがき

横山泰行『ドラえもん学』PHP研究所、2005年5月

はじめに

第1章 ドラえもんの来た道

I ぼく、ドラえもん

II 思いがけない長期化

III 国民マンガの礎

IV スーパーアイドルへの道

V 時代を超えて

第2章 「マンガ世紀」のドラえもん

I 脅威の数字ハンター

II ドラえもん、日本から世界へ

III 世界各地ドラえもんめぐり

第3章 あらすじで読むドラえもん

I 白いのび太と黒いのび太

II のび太の結婚

III 素顔の仲間たち

IV 少し不思議なギャグマンガ

V 時代を先取りしたメッセージ

伊藤洋『日本力』講談社、2005年6月

第1章 勝ちパターンに入った日本

第2章 中国が抱える大弱点

第3章 中国の創造力の真実

第4章 いびつな韓国経済

第5章 「祭りなき国」の反乱

第6章 神格化されたインドの実像

第7章 世界を席卷する文化と経済

第8章 くたばれ悲観論

文化外交の推進に関する懇談会『「文化交流の平和国家」 日本の創造を』

2005年7月

はじめに

第1章 今なぜ文化外交か

第2章 文化外交の3つの理念と3つの柱

第3章 明確な文化外交戦略を

終わりに

(資料) 文化外交の推進に関する懇談会の開催について  
各会合で議論されたテーマ

竹下裕子・石川卓編『多文化と自文化—国際コミュニケーションの時代』森  
話社、2005年9月

I 日本と諸外国との関係を中心として

II さまざまな分野における異文化間の諸問題

III 国際コミュニケーションの実践に向けて

ブックガイド〈知〉の森を進むための文献・資料案内

あとがき

『中央公論』（特集：今こそ本気で文化外交を、第120巻第10号、中央公論  
社新社、2005年10月）

青木保・王敏・近藤誠一（対談）「世界に『日本のアニメ世代』を育てよ」  
浜野保樹「グローバル・スタンダードよりは自らの評価軸を持って」

田原総一郎・岡本行夫『「外交」と何か、「国益」とは何か—増補版・生きの  
びよ、日本！！』朝日新聞社、2005年10月

はじめに 外交と理念と現実と

第1章 イラク戦争とイスラム世界

第2章 「新アメリカ帝国」との付き合い方

第3章 「目覚める獅子」中国の底力

第4章 「北朝鮮危機」をどうするか

第5章 戦略なき国家・日本

## 第6章 自衛隊は？憲法は？

おわりに イラクで出会った人々

補章 この国がいま見据えるべきもの

浜野保樹「生活様式 世界に模倣される日本の『衣食住』の原点は『身土不二』にあり」(『Sapio』第17巻第21号、小学館、2005年11月)

世界に模倣される日本の「衣食住」

いまなぜ日本の生活様式が模倣されはじめたのか

国家的な文化戦略が必要だ

大塚英志・大澤信亮『「ジャパニメーション」はなぜ敗れるか』角川書店、2005年11月

第1部 まんが／アニメから「ジャパニメーション」へ

- 1 日本のまんが／アニメは何処から来たのか
- 2 戦後／手塚／手塚の後継者たち

第2部 国策の中のジャパニメーション

- 1 市場規模から見るジャパニメーション
- 2 産業構造から見るジャパニメーション
- 3 ナショナリズムから見るジャパニメーション

第2部参考資料

あとがき

近藤誠一「日本の文化外交戦略—文化外交の最前線で考えたこと」(『外交フォーラム』通巻第209号、都市出版、2005年12月)

ソフト・パワー論と実践

三つの仮説と見切り発車

誰もが日本文化の復権を心の中で願っている

文化外交とネットワーク理論

政府の機能の変化

日本文化にとっての挑戦

高島肇久「官民でパブリック・ディプロマシーを」(『月刊グローバル経営』  
第290号、社団法人日本在外企業協会、2006年1月)  
見えない日本から“見せる日本へ”  
途上国が援助対象から新しいマーケットへ  
アジアの成功ノウハウをアフリカへ  
英語で世界に発信  
言わないと通じない 文字にしないと通じない

四方田犬彦『「かわいい」論』筑摩書房、2006年1月

- 第1章 「かわいい」現象
- 第2章 「かわいい」の来歴
- 第3章 大学生の「かわいい」
- 第4章 美とグロテスクの狭間に
- 第5章 小さく、幼げなもの
- 第6章 なつかしさ、子供らしさ
- 第7章 メディアのなかの「かわいい」
- 第8章 「萌え」の聖地
- 第9章 「かわいい」、海を渡る
- エピローグ 「かわいい」の薄明

杉山知之『クール・ジャパン 世界が買いたがる日本』祥伝社、2006年2月

- まえがき
- 第1章 「クール」の帝国・日本
- 第2章 ビジネスとしての「クール・ジャパン」
- 第3章 「ジャパン・オリジナル」の強さ
- 第4章 「AKIBA」から世界へ—国籍を越えて増殖する「OTAKU」
- 第5章 「クール・ジャパン」を産み出す人々
- 第6章 新・文化産業のための世界戦略
- あとがき

小浜正幸・京藤松子『ブッシュとソフトパワー』自由国民社、2006年5月  
第1章 私のアメリカとブッシュ大統領  
第2章 パブリック・ディプロマシーとブッシュ政権

中村伊知哉・小野打恵『日本のポップパワー』日本経済新聞社、2006年5月

はじめに

- 序章 ポップカルチャーという名の妖怪
- 第1章 ソフトパワーとしてのポップカルチャー
- 第2章 世界を駆ける変化の兆し
- 第3章 ポップパワーの源流
- 第4章 日本ポップカルチャーの構造
- 第5章 日本のポップはどう見られているか
- 第6章 ポップカルチャー政策
- 第7章 デジタルキッズ—次代のポップの主役たち
- 第8章 産業文化力とコンヴィヴィアリティ

ピーター・チェピン他「ソフトパワーとパブリック・ディプロマシー」(『遠近』第11号、国際交流基金、2006年6月)

他を魅了する文化や価値観を持つこと

国家イメージの重要性

20年後の日米関係を見据えた交流を

ソフトパワーの伝達と受容

非政府組織の人々とソフトパワー

ソフトパワーを高める政策とは

杉浦勉「ジャパン・クールと商社」(『日本貿易会月報』第639号、2006年7月)

1 はじめに

- 2 時代が求めるソフトパワーとしての文化力
- 3 拡大する創造産業と文化影響力
- 4 商社の5つのソフトパワー

川崎賢一『トランスフォーマティブ・カルチャー—新しいグローバルな文化システムの可能性』勁草書房、2006年7月

Transformative Society—文化的グローバリゼーションの文脈における新しい文化システムの必要性

第1部 新しい文化システムとは何か？

第2部 文化政策と文化システム

第3部 文化産業と文化システム

第4部 文化交流と文化システム

第5部 新しい文化システムを目指して

課題と展望—終章にかえて

20世紀メディア研究会編『インテリジェンス』（特集：映画史と政治・社会）（第007号）20世紀メディア研究会（発売：紀伊國屋書店）、2006年7月

加藤厚子「映像による『日本文化』表象をめぐる議論—1930年代官公庁県連機構製作映画を中心に」

土屋由香「『パブリック・ディプロマシー』の出発点としてのアメリカ占領軍・C I E映画」

谷川健司「占領下日本における米ソ映画戦—総天然色映画の誘惑」

原田健一「綴方と映画—重層化したメディアにおける意味の変容」

小林聡明「李承晩政権期韓国における郵便検閲体制の諸相—植民地期朝鮮との連続性をめぐって」

市川紘子「合衆国の対外文化政策におけるラジオ放送—第2次世界大戦期から冷戦までのVOAの活動を中心に」

渡辺正人「現代日本文化における趣味的世界の台頭について」（『聖学院大学論叢』第18巻第3号、2006年8月）

はじめに

- 1 オタク文化について
- 2 趣都アキハバラの誕生
- 3 趣味的世界の台頭について
- 4 まとめに代えて

堀淵清治『萌えるアメリカ～米国人はいかにしてMANGAを読むようになったか』P B社、2006年8月

- 1 八〇年代、ゼロからのスタート
- 2 九〇年代、ピンチをチャンスに変えるまで
- 3 二十一世紀、新たなる革命に向けて

牟田武生『ジャパंकール』三松株式会社出版事業部、2006年8月

- 第1章 今、日本社会を若者中心に考える
- 第2章 核家族世代の子育て裏事情
- 第3章 子どもが育つために求められるもの
- 第4章 求められる地域社会の活性化を考える
- 第5章 若者力が地域を変える
- 第6章 地場ブランドを生み育てることが日本を元気にする
- 第7章 若者力は高齢化社会を支える

島川崇編『ソフト・パワー時代の外国人観光客誘致』同友館、2006年9月

- 第1章 ニッポンのソフトパワーと国家の魅力
- 第2章 なぜ、今観光立国すべきなのか？
- 第3章 インバウンド振興事業と政府観光局（N T O）
- 第4章 日本の外国人観光客誘致の現状
- 第5章 外国人観光客誘致のあるべき姿
- 第6章 日本の外国人観光客誘致—6つの提言

文部科学省編『文部科学時報』（特集：今後の国際文化交流のあり方—日本

文化発信の重要性の課題) 第 1567 号、ぎょうせい、2006 年 9 月  
文化庁長官官房国際課国際文化交流室「国際文化交流に関する取組」  
国際文化交流と日本文化発信の意義  
文化庁のおもな施策

青木保「国際文化交流の新段階 文化の多様性の擁護と日本文化の発信」(文  
部科学省編『文部科学時報』(特集：今後の国際文化交流のあり方—日本  
文化発信の重要性の課題、第 1567 号、ぎょうせい、2006 年 9 月)  
はじめに

- 1 文化の多様性の擁護と推進
- 2 自文化防衛と対外文化発信
- 3 「混成文化」の 21 世紀
- 4 東アジアの文化交流

内田真理子「現代日本の国際文化交流に関する考察」(『文化経済学』第 5 卷  
第 2 号、2006 年 9 月)

- I 目的と方法
- II わが国の国際文化交流
  - 1 変遷：戦後から現在
  - 2 2000 年以降の国際文化交流と政府の取組み
    - 2-1 国際関係構築における文化の役割の増大
    - 2-2 2000 年以降の政府の動向
  - 3 現在の国際文化交流の種類
- III 在外公館の活動分析による現地状況の把握
  - 1 文化事業の分析
    - 1-1 文化事業における開催者の割合
    - 1-2 文化事業における文化の種類と活動の詳細
  - 2 広報活動の分析
- IV まとめと今後の課題

佐々木健二郎『日本文化ニューヨークを往く』東京キララ社（発売：三一書房）、2006年12月

\*56のエッセイを収録。

「1960年代末ごろより現在まで、約40年間にあたる。内容はといえば、日本の伝統的芸術である歌舞伎や文楽、仏教美術や浮世絵、今日の現代アートや現代演劇、黒澤映画や座頭市など大衆映画、日本人大リーガーからアニメに至る広範囲なものになっていた。本書は、ニューヨークにおける日本文化とアーティストの活躍ぶりを、ジャーナリズム的な視点とわたしの自分史的視点から捉え、一冊の本にまとめたものである。」（「まえがき」より）

『BRUTUS』（特集・WHY?WHAT?クール・ジャパン!）第28巻第1号、マガジンハウス、2007年1月

クール○ジャパン!?なぜか、NIPPONの感性に世界が夢中!

ヒストリー・オブ・クール・ジャパン いつから日本はクールになったの?

最新クール・ジャパン

今、モスクワがニッポンに萌えています。

世界20都市のクール・ジャパン事情。

佐藤可士和さん、〈ユニクロ〉はクール・ジャパンになりますか?

あの巨匠たちが緊急来日! 「本当に日本はクールですか?」

なぜ、世界中の人々が「村上春樹」を読みたがるのか?

なぜ、「ハローキティ」は世界で一番稼ぐ猫なのか?

なぜ〈APE〉と〈EVISU〉は世界のストリートで受けるのか?

次に来るクール・ジャパンは何ですか?

ジャンル別2007年のクール・ジャパン予測。

世界はなぜ、日本をクールと思うのか?

「あの人、oasisのノエルじゃない?」「TOKYOで買い物?」

三上貴教「パブリック・ディプロマシー研究の射程」『修道法学』第29巻

第2号、広島修道大学法学会、2007年2月

- 1 序章一定義について
- 2 「広報・公開・公共」外交としてのパブリック・ディプロマシー
- 3 パブリック・ディプロマシーの日本の系譜
- 4 国民外交とパブリック・ディプロマシー
- 5 終章—研究の射程

林忠正シンポジウム実行委員会編『林忠正 ジャポニスムと文化交流』ブリュッ  
ク、2007年2月

木々康子、林忠正と日本の近代

I 美術品の交流—作品の移動を媒介とした貢献

高木陽子、ブリュッセルの日本美術コレクションと林

グレゴリー・アーヴィン、「林覚え書」再考—1886年ロンドンにお  
ける林忠正とヴィクトリア&アルバート美術館の日本美術コレク  
ション

瀬木慎一、林と三人の重要人物

ノラ・フォン・アッヘンバッパ、ハンブルク工芸美術館の所蔵作品  
と林

ジュヌヴィエーヴ・ラカンブル、パリの美術商と林忠正

岡部昌幸、ディスカッション1

II 美術論の交流—美術の受容における貢献

手塚恵美子、日本人美術家のジャポニスム受容と林忠正

小山ブリジッド、エドモン・ド・ゴンクールと林忠正—『北斎』伝  
協力と友情の結晶—

マニュエラ・モスカティエッロ、19世紀末のパリにおける林忠正と  
イタリア人画家たち

山梨絵美子、林忠正と日本における「美術」および「工芸」の概念  
の確立

馬淵明子、林忠正の西洋美術コレクションとベルト・モリゾ

宮崎克己、ディスカッション2

高階秀爾、総括  
高頭麻子、結びの言葉  
本書関連年譜、主要参考文献、索引

『外交フォーラム』（特集：「日本ブランド」ってなに？）（通巻第 223 号）  
都市出版、2007 年 2 月  
加藤濯也「国家にとってブランドとは」  
サイモン・アンホルト「競争力のある国家アイデンティティをグローバル  
リズムの中における国家のブランドマネジメント」  
ダンネンバーク・アンドレアス（インタビュー）「魅力ある国日本のブラン  
ディング戦略」  
吉崎達彦「静かな秀才、日本一戦略的なパブリック・ディプロマシーのす  
すめ」  
吉田望「日本のブランドを考えるための本」

東浩紀『コンテンツの思想』青土社、2007 年 3 月

新海誠×西島大介×東浩紀 1 セカイから、もっと遠くへ  
神山健治×東浩紀 2 アニメは「この世界」へと繋がっている  
伊藤剛×夏目房之介×東浩紀 3 「キャラ／キャラクター」概念の可能性  
桜坂洋×新城カズマ×東浩紀 4 フィクションはどこへいくのか  
索引

神奈川大学人文科学研究所編『世界から見た日本文化』御茶の水書房、2007  
年 3 月)

第 1 部 国際シンポジウム

メアリー・ナイトン／井上麻依子・村井まや子訳『『パルタイ』から『ス  
ミヤキスト Q の冒険』へ—倉橋由美子の文学における審美的、政治的  
革命』

王勇「坐る仏と立つ神—日本文化への視座」

シュテフィ・リヒター／小林敏明訳 『『実体』としての日本か「クール」

な日本か—グローバル化時代における日本研究のチャンスとリスク

鈴木彰「コメンテーター報告」

## 第2部 記念講演

川田順造「世界の中の日本文化を考える—日露戦争と『蝶々夫人』を事例として」

ドミトリ・ラゴージン「ロシアにおける日本文学」

中本信幸「コメンテーター報告」

ヴァチェスラフ・フセヴォロドヴィチ・イワーノフ／堤正典訳「ロシア人研究者の見た日本の仏教」

## 特別記念講演

ドナルド・キーン「世界の中のにほんぶんがく」

水野晴光「あとがきに代えて—美しいこの国のかたち」

『ダカーポ』（特集：クール・ジャパン！アニメビジネス最前線）第603号、  
マガジンハウス、2007年3月

日本アニメの評価と浸透度「世界地図」

ギネス級ブレイク。アニメ「大ヒット伝説」

アニメの今がわかる「最新トピックス」

これが「アニメビジネス」の仕組みだ！

定番の「ファミリーアニメ」は苦難の時代

「プリスクール」ヒットの鍵は親の支持

ヒットが計算できない「女兒モノ」の世界

「少年アニメ」生き残りの秘策はIT戦略

新作ナンシでもOK！？「宮崎作品」の現在地

制作会社の知財化が進む「ロボットアニメ」

声優が脚光を浴びる「女性向けアニメ」

「日本アニメ」は、こうして生まれた！

アニメ業界で「働きたい人」必読です！

『日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査報告書』国土交通省総合政策局、2007年3月

序章 調査の目的と背景

第1章 日本のアニメ・マンガを取り巻く状況

第2章 アニメ・マンガの観光活用の概況

第3章 アニメ・マンガを目的とした旅行ニーズの把握

第4章 アニメ・マンガを観光に活用する上での課題と可能性

第5章 アニメ・マンガを観光に活用するための基本施策

中西寛大「外交とは何か—異なる社会の共存の作法」(『外交フォーラム』通巻226号、都市出版、2007年5月)

「使者を食べるよりは使者の言葉を聞いた方が得になる」

近代西洋では発達した外交制度

外交の精神の基本は変わらない

渡部恒雄(研究代表者)『日本のパブリック・ディプロマシー研究—国益情報をも効果的に発信するために—』(東京財団研究報告書 2007-2)東京財団研究部、2007年5月

エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー(英訳)

要約

第1章 日米中トライアングルにおける日本の外交戦略の位置づけ

第2章 日本の発信メッセージは効果的だったか—英字新聞のOp-Ed欄を中心に

第3章 ワシントンの歴史問題の理解と議会聴会での日本からの発信

第4章 まとめと提言

要約英文

浜野保樹「コンテンツからみた日本文化と地域ブランディング」(『日経研月

報』第348号、財団法人日本経済研究所、2007年5月)

はじめに

ブランディングと日本人のアイデンティティー

コンテンツの重要性

世界の先端を行く日本のコンテンツ産業

和様、和風の衣食住～21世紀型ライフスタイル

衣～何代も切られる服

食～油一滴も使わぬ料理

住～自然と調和した建物

日本のこれまでのブランディング「欧米化」

これからの地域ブランディング

ローランド・ケルツ／永田医訳『ジャパナメリカ 日本発のポップカルチャー革命』ランダムハウス講談社、2007年5月

まえがき

第1章 Gフォースのご加護を

第2章 アトム・ボーイズ

第3章 アニメというビジネス

第4章 トイ・ストーリー

第5章 日本が抱える知的財産問題

第6章 奇妙な変身

第7章 コスプレとオタク世界

第8章 フューチャー・ショック

第9章 アニメの魅力

日本語版読者へのあとがき

訳者あとがき

索引

\* *Japanamerica* (2006) の翻訳。

芝崎厚士「国際文化現象としての国際関係研究—ソフト・パワー概念を中心

に一) (『インターカルチャル』第5号、アカデミア出版、2007年6月)

- 1 目的と構成
- 2 文化として国際関係研究
- 3 「ソフト・パワー」概念の生成と流通
- 4 夢見ることと目覚めること

奥野卓司『ジャパंकールと江戸文化』岩波書店、2007年6月

- 第1章 ジャパंकールからみえる江戸文化
- 第2章 コミュニティを再生する江戸文化
- 第3章 ジャパंकールとしての江戸文化
- 第4章 江戸文化の「モエ」の構造
- 第5章 京都・大坂・名古屋のコンテンツ戦略
- 第6章 江戸という近未来

『Courrier Japon』(特集:世界が見たNIPPON 世界が崇拝する!?“クール・ジャパン”) (第3巻第7号) 講談社、2007年6月

〈Part 1〉世界が崇拝する!?“クール・ジャパン”

老いも若きも日本に片思い ロシアより愛をこめて!

南米アルゼンチンでなぜ日本の小説が売れるのか?

締め切り厳守を叩き込むパリの日本式マンガ学校

ゴスロリ・ファッションでラーメンを啜る若者たち

「イザカヤ」で一杯! 韓国でいま日本酒が熱い

世界を駆ける新奇グッズは病んだ日本社会から生まれる

〈Part 2〉世界が注目する日本人

安倍首相の「憲法改正」のシナリオは10年前すでに描かれていた!

日本人のここが知りたい! 中国人による「105の質問」

米紙が報じた“意外なエピソード” もうひとつの松坂フィーバー

巨大ケーキで祝った天才中村俊輔「MVPの夜」

〈特別対談〉ジャクリース・ベルント vs. モクタリ・ダヴィッド 若者たち

のコミュニティーはMANGAでつくられる

SPECIAL REPORT】話題のバイオ燃料は本当にエコなのか エタノール「不都合な現実」 環境にも人にも優しくないばかりか、大きな問題を抱えている――。

スポット CM の時代は終わった!? ネットで変わる米国の「次世代広告」 バドワイザー、P&G、日産による画期的な試み!

世界に学ぶ 11 のヒント 「信号をなくしたら事故が激減」ほか、参考にした事例をお届け!

杉山知之『『クール・ジャパン』を誇りにしたい』(『Career guidance』第39巻第3号) リクルート、2007年6月

- I 「コンテンツ産業」という新分野
- II 『『クール・ジャパン』』という評価
- III 世界に誇るべきデジタル環境
- IV これから求められる人材
- V 来るべき「コンテンツ」の世紀に

文部科学省編『文部科学時報』(特集・「文化芸術立国」を目指して―「文化力」は国の力) (第1578号) ぎょうせい、2007年7月

青木保「文化と人と人をつなげる力」

文化庁長官官房政策課『『文化芸術の振興に関する基本的な方針』(第2次基本方針) について』

田村和寿・根木昭・吉本光宏・米屋尚子/高塩至「(座談会)『文化芸術の振興に関する基本的な方針』(第2次基本方針)の策定に当たって」

宮田亮平「心つなぐ日本の魅力」

施策紹介 第2次基本・重点事項六分野における取組

重点分野 I 人材育成 日本の文化芸術の継承、発展、創造を担う人材の育成

重点分野 II 国際発信 日本文化の発信・国際文化交流の推進

重点分野 III 戦略的支援 文化芸術活動の戦略的支援

重点分野 IV 地域文化 地域文化の振興

重点分野V 子ども 子どもの文化芸術活動の充実  
重点分野VI 文化財 文化財の保存・活用の充実  
文化庁長官官房政策課『『文化芸術の振興に関する基本的な方針』（第2次基本方針）』

大江博『外交と国益』日本放送出版協会、2007年7月

序 外交実務者の視点から

I 米国・北朝鮮・中国との関係を考える

第1章 米国とどう付き合うか

第2章 北朝鮮問題の鍵

第3章 中国脅威論をどう捉えるか

II 包括的安全保障とは何か

第4章 武力行使の法的評価—湾岸戦争からイラク・米英戦争まで

第5章 大量破壊兵器拡散にどう対抗するか

第6章 安保理改革と日本

第7章 日米安全保障関係の現状と問題点

III 国際社会にどのように貢献すべきか

第8章 人間の安全保障と地球規模問題

第9章 日本の経済協力と人的貢献

〈参考資料〉

〈参考文献〉

あとがき

略語一覧

コンテンツグローバル戦略研究会『コンテンツグローバル戦略報告書 最終とりまとめ』（コンテンツグローバル戦略研究会事務局：経済産業省商務情報政策局、2007年9月）

はじめに

I 世界のコンテンツ産業をめぐる変化のダイナミズム

II 日本のコンテンツ産業の目指す方向性

- Ⅲ 具体的課題と政策的対応
- Ⅳ 分野別国際展開の方向性
- Ⅴ グローバル戦略の具体化

杉山知之『『クール・ジャパン』それは、驚くほど自由の世界』（『Adveritsing』

特集：日本ブランドのつくり、第16号、電通、2007年9月）

自分たちの世界観にないものが新しくて、カッコいい

日本の工業製品とコンテンツは互いに影響しながら価値を高めている

多くの人々にPCを使って表現する技術を身につけてもらいたい

『をちこち』（特集 Manga are cool!マンガから MANGA へ）第19号、国際交流基金、2007年10月

夏目房之介・山田奨治（対談）「世界に広がったマンガが文化の相互理解をもたらす」

市村恭一「MANGA は北米出版界史上空前のヒット商品」

鶴野孝紀「マンガの出版形態が『バンド・デシネ』に変革を迫っている」

ジャクリーヌ・ベルント『『マンガ』の雑種性が幅広い表現参加の場を提供している」

ソニア・ビベ・ルイテン「斬新かつハイブリッドなブラジルマンガの創造へ」

サクダー・ウィモンジャン「日本マンガが書棚を占拠し、マンガ専門店もオープン」

朴仁河「ネットを通して爆発的に広まった日本マンガの人気」

雛凱『『門を閉ざして車を作る』中国産マンガの道は遠い」

麻生太郎・呉智英（対談）「マンガは日本文化の発信に大いに貢献している」

マルク・ベルナベ「マンガは日本語学習の強力なツールになる」

中島裕介「日本のマンガ文化に触れた8日間」

伊藤遊「マンガ文化を学び、育み、社会への還元を目指す」

独立行政法人国際交流基金監修『パフォーミングアーツにみる日本人の文化力』水曜社、2007年10月

\*本書は国際交流基金が運営する月刊ウェブサイト「Performing Arts Network Japan」に、2004年から2007年までの3年にわたって掲載されたアーティストのインタビューをまとめたものです。アーティスト 30人のロングインタビュー集。

『外国人が感激したニッポンの魅力 NHK COOL JAPAN』（アスコム、2007年10月）

はじめに

スペシャルインタビュー1 鴻上尚史さん

スペシャルインタビュー2 リサ・ステッグマイヤーさん

司会の2人の印象に残ったクール・ジャパン アイス・コーヒー

日本がクールだと注目されているワケ1 ハイブリッド

金子将史・北野充編『パブリック・ディプロマシー』PHP 研究所、2007年10月

はじめに

北野充 第1章 パブリック・ディプロマシー

小川忠 第2章 主要国のパブリック・ディプロマシー

横江公美 第3章 アメリカの対中東パブリック・ディプロマシー

小川忠 第4章 イギリスの対日パブリック・ディプロマシー

マイケル・ユー 第5章 中国の対米パブリック・ディプロマシー

金子将史 第6章 日本のパブリック・ディプロマシー

井出敬二 第7章 日本の対中パブリック・ディプロマシー

北野充 第8章 日本の対米パブリック・ディプロマシー

金子将史 終章 日本のパブリック・ディプロマシー強化への提

言

小原雅博『国益と外交』日本経済新聞社、2007年10月

- 序章 国益論の核心
- 第1章 国益の視座
- 第2章 国益の確定
- 第3章 国益の実現
- 第4章 国際益・世界益を目指して—戦争から平和へ、そして貧困から繁栄へ
- 第5章 日本の国益と外交
- 最終章 「開かれた国益」を目指して

岩渕功一『文化の対話力』日本経済新聞出版社、2007年12月  
はじめに

- 序章 国越える文化の対話力
  - 1章 文化の越境流動と国民の包摂と排除
  - 2章 ソフト・パワーからブランド・ナショナリズムへ
  - 3章 メディアがつなぐ「アジア」と文化対話の（不）可能性
  - 4章 韓流が「在日韓国人」と出会うとき
  - 5章 「普通の外国人」求む！
  - 6章 メディア・シティズンシップ
- 参照文献  
あとがき

綿貫健治『ソフトパワー・コミュニケーション』学文社、2007年12月  
はじめに

- 第1部 日本とフランスのコミュニケーション力
  - 第1章 フランスという国
  - 第2章 フランスと日本のソフトパワー・コミュニケーション力
  - 第3章 日仏コミュニケーションのジレンマ
- 第2部 日本人とフランス人のビジネス・コミュニケーション
  - 第4章 日仏理解のための四つのプラットフォーム
  - 第5章 コミュニケーション的特質（第1プラットフォーム）

第6章 文化的特質 (第2プラットフォーム)

第7章 政治的・経済的・社会的特質 (第3プラットフォーム)

第8章 個人的特質 (第4プラットフォーム)

第9章 日本におけるソフトパワー・コミュニケーションの課題

おわりに

参考文献

索引

ケント・カルダ「新しい外交の形—なぜ今、世界に文化外交が必要なのか」

(『国連ジャーナル』2008年3月)

北東アジアの諸相

文化外交とは

日本外交の今後

沼田知加『『クール・ジャパン』の正体 (上) 麗しき誤解に基づく再認識の

衝撃』(『共立女子大学文芸学部紀要』第54号、共立女子大学文芸学部、

2008年1月)

はじめに

(一) 日本がクールだなんて、信じられねーしょん!?

(二) “Japan’s Gross National Cool” 精読

(三) cool という形容詞—クールはホット

おわりに

伊藤洋一『日本カーアジアを引っ張る経済・欧米が憧れる文化!』講談社、

2008年1月

文庫版まえがき—グローバルイゼーションを企業、街、個人が活用する時

代

まえがき—美しい製品を作り出す国の将来

第1章 勝ちパターンに入った日本

第2章 中国が抱える大弱点

第3章 中国の創造力の真実

第4章 いびつな韓国救済

第5章 「祭りなき国」の反乱

第6章 神格化されたインドの実像

第7章 世界を席卷する文化と経済

第8章 くたばれ悲観論

あとがき—溢れんばかりの創造性に恵まれた民族

\*初版は2005年6月。

井上泰浩「パブリック・ディプロマシー 対外国意識、国際世論と外交政策」

(伊藤陽一・河野武司編『ニュース報道と市民の対外国意識』慶應義塾大学出版会、2008年1月

はじめに

I 国際世論と外交・国際関係

II パブリック・ディプロマシー

III 国際世論と外交力

おわりに

文化庁編『文化庁月報』(特集・メディア芸術の振興)(通巻472号)ぎょうせい、2008年1月

浜野保樹「日本のメディア芸術」

清水明「メディア芸術振興に向けた取組」

文化庁芸術文化課支援推進室「平成一九年[第一一回]文化庁メディア芸術祭受賞作品」

文化庁芸術文化課支援推進室「シンポジウムレポート『世界のメディアアート』」

森本純一郎「国策としてのアニメーション」(『芸術世界』東京工芸大学芸術学部紀要第14号、東京工芸大学芸術学部、2008年3月)

はじめに

当時の状況として  
悪法もまた法  
『鉄扇公主』の衝撃  
民間に回すフィルムは一フィートもない  
『桃太郎の海鷲』の登場  
結び

池内信子編『COOL JAPAN オタクニッポンガイド』JTB パブリッシング、2008  
年3月  
世界最強のオタク ジョシュ・バーネットを直撃  
ある日のアキバ  
キーワードで日本観光  
女性がハマる！魅惑の世界  
非萌えな世界を覗く  
聖地巡礼の旅へ  
日本を旅するガイドブック  
気になるアレを、アレしてみた

ケント・カルダー「損なわれた対話を乗り越えて新しい外交の形—なぜ今、  
世界に文化外交が必要なのか」(『国連ジャーナル』2008年春号、財団法人  
日本国際連合協会、2008年3月)  
北東アジアの諸相  
文化外交とは  
日本外交の今後

川田健「日本の文化外交についての研究動向と課題—アニメ政策を中心とし  
て—」(『東洋大学中国哲学文学科紀要』第16号、東洋大学文学部、2008  
年3月)  
文化外交政策成立の背景  
文化国家構想に対する不安と重層的文化国家思想の後退

文化交流の主体

今後の研究課題—結語に代えて

ジェフ・パークランド『日本から文化力』現代書館、2008年3月

第1章 「Salience」って何？

第2章 大文字の文化、小文字の文化

第3章 日本人は懸命にコミュニケーションをとる

第4章 「自然」「時間」「人間」にどうかかわるかで文化が違う

第5章 現実は一つだけではない

第6章 目に見える文化

第7章 目に見えない文化

第8章 猫も杓子も「アイデンティティ」というけれど

第9章 異文化をステレオタイプで見る怖さ

第10章 異文化へのアプローチから生まれるもの

第11章 観察する、真似する、常識が変わる「異文化のDIE

明治大学国際日本語学部編『「ニッポン学」の現在—GENJI からクール・ジャパンへ』角川学芸出版、2008年5月

蟹瀬誠一 序

I部 クール・ジャパン—最前線からの発信

高山宏 1章 ヴィジュアル・カルチャー事始

鹿島茂 2章 西園寺公望のパリ体験

小笠原泰 3章 「日本的な」を理解する視座

森川嘉一郎 4章 日本の都市風景とサブカルチャー

長谷川文雄 5章 メディア技術が変える日本発コンテンツ

II部 グローバルな日本研究事情—海外からの受信

ローザ・カーロリ

1章 イタリアにおける日本研究の歴史・現状・課題

セップ・リンハルト

2章 オーストリアにおける日本研究—一六〇年の歩み

イレイン・ジュールベル

3章 戦後アメリカの大学における日本研究事情

李玉

4章 中国一七〇〇年の日本研究と現代

エーヴェリン・シュルツ

5章 ドイツの日本研究を担う大学・研究機関・学会

マルガリータ・ウィンケル

6章 日蘭交流史における日本研究の歩み

アンガス・ロキア

7章 戦後イギリスの日本研究と大学事情

編集後記

執筆者紹介

『月刊日本語』特集：きっかけは MANGA 日本が語るソフトパワー) (第 21 卷第 5 号、アルク、2008 年 5 月)

徹底分析・マンガ流行の背景

インタビュー・小倉和夫さん・田中満智子さん

ソフトパワー・MANGA が日本社会にもたらしたマンガ観の変容

お国柄がみえる!? 日本語学習者の好きな MANGA ランキング

輸出された MANGA たち翻訳の舞台裏最前線

マンガを日本語教育にどう活かすか

金子史朗「実践! マンガ教材を使った授業」

渡辺靖『アメリカン・センター アメリカの国際文化戦略』岩波書店、2008 年 5 月

第 1 章 プロパガンダか広報か

第 2 章 冷戦下の広報文化活動

第 3 章 パブリック・ディプロマシーの誕生とベトナム戦争

第 4 章 ポスト冷戦時代のパブリック・ディプロマシー

第 5 章 パブリック・ディプロマシーとソフト・パワー

注

あとがき

大藪友和『世界「文化力戦争」大図鑑』小学館、2008年5月

Chapter 1 エンターテイメント

Section 1 映画

Section 2 音楽力

Section 3 スポーツ力

Section 4 メディア力

Chapter 2 アカデミー&アート

Section 1 学術力

Section 2 アート・デザイン力

Section 3 ブランド力

Section 4 メディア力

Chapter 3 ベーシック

Section 1 言語力

Section 2 宗教力

Section 3 観光力

Section 4 パトロン力

Chapter 4 クール・ジャパン

Section 1 マンガ・アニメ力

Section 2 ゲーム力

Section 3 食文化力

Section 4 日本文化力

『文化庁月報』（特集：「文化力」は国の力）（第476号）ぎょうせい、2008年5月

長官官房政策課 『「文化力」は国の力 文化芸術の持つ力』

後藤和子 「文化力一人、コミュニティ、都市と文化」

太下義之 「海を越える“cool Japan”」

野呂昭彦 『「文化力」をベースに『質の行政改革』を進める県政』

小田切博『クール・ジャパン』と『MANGA』（『ユリイカ』第40巻第7号、  
青土社、2008年6月）

「クール・ジャパン」を巡る言説  
受容される現場への関心の欠落  
アメリカのコミックス市場  
日本マンガという視点の限界

ラファエル・マルカダル『『ジャパנקール』に世界はなぜ熱狂するのか』（『を  
ちこち』第23号、国際交流基金、2008年6月）

日本の大衆文化が世界中に共感の輪を広げている  
「ハードパワー」を奪われた日本が「ソフトパワー」で君臨する  
権文化の「自我をめぐる修行」とジャパנקールの「自我の解放」  
文化の領域で国の枠組みを超えた意識を考える  
日本からの輸出の結果、文化のハイブリッド化が進んでいる。

『Forbes（日本版）』（特集：外国人観光客を日本に呼び込め）（第17巻第6  
号、ぎょうせい、2008年6月）

増加するアジアの観光客と求められる国別の細かい対応  
国土交通省・総合観光政策審議官 本保芳明／松井亘「省庁連携を深め、  
クール・ジャパンのイメージをより強く発信する」

外国人観光客を集める全国の先進事例

ニセコ 観光のソフト強化で通年リゾートへの脱皮を図る  
磐梯・猪苗代 空港からの送迎バスを共同運行しスキー客を確保  
東京 中・韓通訳や体験ツアーなど一歩先を行く大都市の魅力づくり  
姫路 海外映画への撮影協力で世界へ PR ハイテク&ハイタッチで満  
足度を高める

別府 6か国通貨の両替や留学生による通訳ガイドを実施  
千葉日比谷「外国人旅行客の取り込み」を成長の柱と位置づける旅行業  
界「次の一手」

伊藤真実子『明治日本と万国博覧会』吉川弘文館、2008年6月

- 序章 方法としての万国博覧会—近代日本の自己認識の解明をめざして
- 第1章 明治前期の万博参加と日本史構想
- 第2章 一九〇〇年パリ万国博覧会と日清戦争後の日本
- 第3章 第五回内国勸業博覧会
- 第4章 セントルイス万国博覧会と日露戦時外交
- 第5章 日本大博覧会計画と日英博覧会
- 終章 近代日本と万国博覧会

星山隆『日本外交とパブリック・ディプロマシー —ソフトパワーの活用と  
対外発信の強化に向けて—』世界平和研究所、2008年6月

- 第1章 はじめに（問題の所在）
- 第2章 パブリック・ディプロマシーとは何か
- 第3章 ソフトパワーとパブリック・ディプロマシーの関係
- 第4章 諸外国のパブリック・ディプロマシー
- 第5章 新時代のパブリック・ディプロマシー
- 第6章 日本のソフトパワーは強いのか
- 第7章 日本のパブリック・ディプロマシーの現状と問題
- 第8章 日本の政策発信の強化
- 第9章 まとめ

大石裕・山本信人編『イメージの中の日本—ソフト・パワー再考』慶應義塾  
大学出版会、2008年8月

大石裕・山本信人、はじめに

今野茂充、第1章 ソフト・パワーと日本の戦略

大石裕、第2章 日本のソフト・パワーの「歴史性」と「政治性」

山腰修三・平井智尚、第3章 メディア報道と世論調査にみる日本の自  
己イメージ

萩景澄・柴田公子、第4章 靖国問題をめぐる中・韓の対日イメージ

今野茂充・柴田公子, 第 5 章 2006 年の北朝鮮ミサイル・核問題と日本  
—米国・中国・韓国の新聞報道

鳥谷昌幸・河島基弘・阿部るり, 第 6 章 米豪の日本イメージ—靖国問  
題を事例として—

昇亜美子, 第 7 章 東南アジアにおける日本イメージと日本外交—1970  
年代を中心に—

山本信人・高木佑輔, 第 8 章 東南アジア諸国の日本のイメージ再考—  
遠い存在、身近な「日本」、期待

飛鳥田麻生, 第 9 章 中国の対日イメージの基本構造

山本信人, 第 10 章 2007 年・従軍慰安婦問題—「日本」はどう報じられ  
ていたのか—

参考文献

執筆者紹介

リサ・ステグマイアー、鴻上尚史「特別対談 『クール・ジャパン』の進化  
論」(『The 21』第 25 巻第 10 号、PHP 研究所、2008 年 10 月)

日本人は当たり前のことが外国人にはクールにみえる

日本の文化が特別視されず外国人に受け入れられる時代

近藤誠一『文化外交の最前線にて』かまくら春秋社、2008 年 10 月

第 1 章 文化交流を日本社会活性化の起爆剤に

第 2 章 東京を唐の長安に

第 3 章 日本に残る「目に見えない価値」

第 4 章 無形文化遺産条約

第 5 章 普遍的価値と文化の多様性

第 6 章 パブリック・ディプロマシー

対談 1 セッポ・キマネン氏 (チェリスト、駐日フィンランド大使館参事官)  
「音楽で世界を、心を結ぶ—真の豊かさを求めて」

第 7 章 音の世界 その 1

第 8 章 音の世界 その 2

- 第 9 章 近代の超克？
- 第 10 章 アジアとは何か
- 第 11 章 文明間の対話は可能か？
- 第 12 章 みやびと鄙び
- 第 13 章 世界はフラットな「つながり」
- 第 14 章 ことばの世界 1
- 第 15 章 ことばの世界 2

対談 2 尾崎左永子氏（歌人・作家）「ことばを磨くーグローバル社会をい  
きるために」

- 第 16 章 「文明」という言葉のもつ意味ー世界文明フォーラム その 1
- 第 17 章 国家と正義と芸術とー世界文明フォーラム その 2
- 第 18 章 部分と全体ー世界文明フォーラム その 3
- 第 19 章 形の世界 その 1
- 第 20 章 形の世界 その 2

対談 3 小林和男氏（ジャーナリスト）「食卓は文化をつなぐー “対話” が  
育むもの」

- 第 21 章 サマルカンド・ブルー
  - 第 22 章 日本の色
  - 第 23 章 やまごころ その 1
  - 第 24 章 やまごころ その 2
- あとがき

野島芳明『日本文化の底力ー美しい国の世界維新』光明思想社、2008 年 10  
月

- 第 1 章 「美しい国づくり」へ
- 第 2 章 宇宙と地球の交響
- 第 3 章 「美しい国づくり」の原型
- 第 4 章 国土と心の荒廃
- 第 5 章 日本の美意識
- 第 6 章 和を以て貴しと為す

第7章 グローバル・デモクラシー

第8章 民主主義と武士道

第9章 日本文化の美的宗教

レナド・ノベラ「歴史から見た日本と西洋のカルチャル・トレード—ジャポニスムからジャパン・クールへ—」(『京都社会学年報』第16号、京都大学文学部社会学研究室、2008年12月)

1 はじめに

2 日本文化論の原型—19世紀鎖国期の万国博覧会

3 現代における日本から西洋へのポピュラー・カルチャー輸出とイメージ形成

4 考察

霜月たかなか『コミックマーケット創世記』朝日新聞出版、2008年12月  
初期コミックマーケット関係者一覧

第1章 第1回コミックマーケット開催(1975年12月21日)

第2章 『COM』と「ぐら・こん」(1966~71年)

第3章 ファンクラブからの出発(1971~73年)

第4章 ファンに何ができるのか(1973~74年)

第5章 コミックマーケット発進!(1974~75年)

第6章 コミックマーケットはどこへ行く(1976~79年)

コミックマーケット12回までのあゆみ

「マニア運動体論 序説」(『漫画新批評大系』より再録)

『COOL JAPAN 発掘! カッコいいニッポン』(ランダムハウス講談社、2008年12月)

はじめに

1st レジャー・スポーツ

2nd ハイテク・発明

3rd ファッション

4th グルメ

5th ライフスタイル

6th 伝統・習慣

トークセッション [ニッポンの夫婦・世界の夫婦]

鴻上尚史×リサ・ステッグマイヤー特別対談

『COOL JAJAN』放送記録

根本長兵衛・林はる芽監訳『超大国アメリカの文化力』岩波書店、2009年1月

プロローグ

第1部 アメリカの文化と政治

第2部 アメリカの文化と社会

『経済 Trend』(特集:国家戦略としての観光を考える)日本経済団体連合会、2009年1月

大塚陸毅・佐々木隆・本保芳明・溝尾良隆・生江隆之(対談)

○昨年の回顧と新年の抱負

観光に寄せられた機運を活用したい

多様化する市場のニーズにいかに対応するかが課題

観光学はすそ野が広い学門

○観光分野における海外との協力

外客誘致を通じた日本のプレゼンス向上を考える時期

観光は平和へのソフトインフラ

真の意味でのグローバル化へ挑戦する

中国・韓国、欧米諸国との学術交流が盛ん

○観光の新たな展開と求められる人材像

自由と権限を与え自らの成長を期待する

産業連携で観光人材の育成を

「学」と「術」のどちらにウエートを置くか

○国家戦略としての観光のあり方

企業連携を基に新たなフィールドをつくる  
戦略を産官学で検討したい  
観光立国推進基本計画を如何に実現するか  
sightseeing から discover そして trust へ

沼田知加『『クール・ジャパン』の正体（中）—「カワイイ」の罨—』（『共立女子大学文芸学部紀要』第55集、2009年1月）

はじめに

- （1）クール・ジャパンと「かわいい」の関係—『anan』が「かわいい」を目指すまで
- （2）クール・ジャパンと kawaii の関係—キャラクター・グッズからアニメ、そして少女マンガの方へ
- （3）Shojo Beat の kawaii

おわりに

田中均『外交の力』日本経済新聞社、2009年1月

序 章 外交官を志す

第1章 外交官としての原体験

第2章 安全保障のタブーを破る

第3章 朝鮮半島の難題に風穴を

第4章 東アジアに夢を求めて

第5章 21世紀の外交戦略

第6章 外交・政治・メディア・世論

知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会『日本ブランド戦略～ソフトパワー産業を成長の原動力に～』知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会、2009年3月

I 総論

- 1 はじめに
- 2 現状と課題

### 3 基本的な考え方

## II 主な施策

- 戦略1 ソフトパワー産業の振興
- 戦略2 創造基盤の整備
- 戦略3 外に向けての発信力強化
- 戦略4 訪日促進を通じた認知度の向上
- 戦略5 推進体制の構築

### 参考資料

\* 『知財ぷりずむ』(第7巻第80号)(財団法人経済産業調査会知的財産情報センター、2009年5月)にも掲載されている。

斎藤美奈子「アニメの国」(天野正子編『表現とメディア』新編日本のフェミニズム7、岩波書店、2009年3月)

「おとぎの国」から「アニメの国」へ

軍事大国としての「男の子の国」

恋愛立国としての「女の子の国」

「アニメの国」は「オトナの国」の模型

福田優二「現代日本の消費文化に関する一考察」(『跡見学園女子大学マネジメント学部紀要』第7号、2009年3月)

はじめに

- 1 「日本文明」の形成
- 2 平安貴族社会に日本文化の原型
- 3 「刀」の時代
- 4 「平成貴族モデル」に回帰した現代の消費文化
- 5 「クール・ジャパン」への戦略的視点

文化発信戦略に関する懇談会報告『日本文化への理解と関心を高めるための文化発信の取組について』文化発信戦略に関する懇談会、2009年3月  
文化の戦略的発信の重要性とすみやかに着手すべき取組

文化発信の意義

国に求められる重要な役割

すみやかに着手すべき取組

文化発信の推進とそのために必要な基盤整備をすすための取組み

I 世界への文化発信の重点的な取組の推進

II 国内における日本文化紹介の充実・強化

III 日本文化を世界へ発信するための国内体制の整備

参考資料

谷内正太郎・高橋昌之『外交の戦略と志』産経新聞社（発売：日本工業新聞社）2009年4月

外交に身を投じて

第1部 日本外交の課題

第2部 政治と外交

第3部 現在と未来の外交官へ

呉善花『日本の曖昧力—融合する文化が世界を動かす』PHP研究所、2009年5月

第1回 日本文化の基礎—日本人の「曖昧さ」の根にあるもの

第2回 日本人はなぜ旅に出るのか

第3回 「美の大国日本」はいかにして生まれたか

第4回 日本人はなぜ微妙な歪みを愛するのか

第5回 日本の職人はなぜ自然の声に耳をすますのか

第6回 世界で一番平等で安全な社会を築いた国はどこか

第7回 なぜ日本人は穏やかなのか

第8回 日本はいかにして「アジア文明の博物館」となったのか

第9回 日本語はなぜ「受け身」を多用するのか

第10回 なぜ日本庭園にいると想像が膨らむのか

第11回 なぜ日本には武士が生まれたのか

最終回 天皇はいかにして日本社会に平等をもたらしたのか

特別書き下ろし講義 世界的な課題としての「日本風」

櫻井孝昌『アニメ文化外交』筑摩書房、2009年5月

はじめに

第1章 チェコ、イタリアからサウジアラビア、ミャンマーへ

第2章 スペイン、フランスから東南アジアまで

第3章 なぜアニメが外交に使えるのか

第4章 「官」がすべきこと、「民」がすべきこと

付 録 オタク外交官と呼ばれて

登場アニメ作品解説

あとがき

寫信彦『日本の「世界商品」力』集英社、2009年6月

はじめに

第1章 活気づくクール・ジャパン

第2章 世界に誇る日本の美

第3章 世界を席捲する日本のコンテンツ

第4章 トップに躍り出た和食文化と農業産品

第5章 世界が注目する日本の伝統と技術

第6章 クール・ジャパンと「世界商品」戦略

終 章 再成長のエンジンで5%成長は可能だ

おわりに

参考文献

東京商工会議所『東京都の観光政策に関する要望～訪日外国人市場の拡大に向けた東京ならではの都市型観光資源の開発～』2009年6月

#### I 緊急要望事項

- 1 2016年オリンピック・パラリンピック東京招致の実現
- 2 新型インフルエンザ等の感染症に関する適切な情報提供

#### II 要望事項

- 1 地域資源開発
- 2 受入体制整備
- 3 情報発信
- 4 その他の事項

古賀令子『「かわいい」の帝国—モードとメディアと女の子たち』青土社、2009年6月

- 1 「かわいい」って何？
- 2 少女文化から若者文化へ
- 3 「かわいい」文化の台頭
- 4 「原宿系」と渋谷ギャル
- 5 「ロリータ・ファッション」と「ゴスロリ」
- 6 雑誌の作り出す「かわいい」イメージ
- 7 「かわいい」メンズ
- 8 「かわいい」モードの現在
- 9 ふたたび、「かわいい」とは何か？

岸周吾『外国人から見たニッポン』ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009年7月

はじめに

## A SKETCHBOOK ON THE PROJECT

### CHAPTER 1 WHAT DO YOU THINK OF JAPANESE CULTURE?

日本の文化ってどう思う？

### CHAPTER 2 WHAT DO YOU THINK OF JAPANESE PEOPLE?

日本人ってどう思う？

おわりに

『外交フォーラム』（特集：日本を売り込め！魅力ある日本の発信をめざして）通巻第252号、都市出版、2009年7月

渡辺靖「日本らしさとは何か—アイデンティティと文化外交」

鴻上尚史「私も、クール・ジャパン」

櫻井孝昌「アニメは父親や母親のような存在です—世界に広がる文化外交ツールの可能性」

海保香織・永谷亜矢子対談 「『魅せる』から『売る』へのシフトチェンジ——ガールズファッションが世界に羽ばたくために」

門司健次郎「オールジャパンで売り込む『日本』」

稲見由紀子「ベトナムの中学校で日本語を教える——日本語教育試行プロジェクトの現場より」

小倉紀蔵「『かわいい日本』の衝撃——韓国における日本文化受容の意味」

青山瑠妙「中国を説明する——中国のソフト・パワーと文化交流」

佐々木雅幸・川崎賢一・河島伸子編『グローバル化する文化政策』勁草書房、2009年7月

はしがき

序章 文化的グローバリゼーションと文化政策

第Ⅰ部 文化政策の動向

第1章 文化帝国主義論——グローバル文化の理解における文化帝国主義論の意義——

第2章 都市における持続可能性と文化政策との関連性

第Ⅱ部 グローバル化する文化政策

第3章 グローバル時代における文化政策——問題と論争——

第4章 グローバル文化産業と文化政策——ハリウッドとヨーロッパ——

第5章 グローバル化するアメリカの芸術NPO——グッゲンハイム美術館の国際戦略が意味するもの——

第6章 グローバリゼーション時代の文化政策の課題——ドイツ・新しい公共空間の提起——

第7章 北欧の文化政策と創造的都市の試み——フィンランドの事例を中心として——

第8章 国家の芸術、芸術の国家——シンガポールの文化政策に関する

省察——

第9章 現代アートとグローバリゼーション——アーティスト・イン・レジデンスをめぐる——

参考文献・サイト

木下義昭編『「文化力」を研く』世界日報社、2009年8月

宮田亮、コシノジュンコ、家田紀子、木下義昭 1 日本の美と力—世界における藝術国家・日本の役割

ジャン・マルク・ルイスアタ、百瀬喬 2 音楽と人生・演奏家の心

齊藤雅広、家田紀子、山本祐ノ介、木下義昭 3 「日本の音楽・歌」を展望する

親松英治、鴨野守 4 精神性の深さを追求

伊藤赤水、ラインハルト・ドリフテ 5 佐渡と自然と無名異焼と—「東西の出会い」を語る

サイトウ良、増子耕一 6 期待されるアジアの美術

栗田勇、疋田寛吉 7 書の魅力をたずねて

ムスティスラフ・ロストロポービチ、百瀬喬、藤橋進 8 祖国・自由・音楽を語る

前橋汀、中河原理 9 常に新鮮な気持ちで演奏

金田一春彦、檀ふみ 10 日本語—魅力と面白さ

櫻田亮、櫻田智子、増子耕一 11 イタリア古楽の魅力 伝えたい

平野忠彦 12 私の第四幕

◎サンデー世界日報「顔」「ひと」から

鈴木弘之 1 作者とイベント 対決させる

久保和範 2 オペラの視野広げる風雲児

山本文雄 3 書の原点に立ち返って

中野振一郎 4 古楽器の魅力全開

鮫島有美子 5 歌は人を幸せにする

天満敦子 6 “しあわせ気分、奏でる

市川紘子「米国の対外文化政策研文理論の系譜—『プロパガンダ』の否定性  
の問題と『パブリック・ディプロマシー』理論の構築—」（『東京大学大学  
院 情報学環紀要 情報学研究』第77号、2009年8月

- 1 はじめに
- 2 広報研究と「プロパガンダ」
- 3 「パブリック・ディプロマシー」
- 4 結びに代えて

佐々木隆『新しい国際文化交流論』多生堂、2009年9月

はじめに

- 第1章 用語の定義をめぐって
  - 第2章 国際文化交流の文化アイテム
  - 第3章 日本の英語教育史
  - 第4章 国際交流基金
  - 第5章 ユネスコ
  - 第6章 「今後の国際文化交流の推進について」（2003年3月24日）
  - 第7章 「今後の国際文化交流のあり方」（2006年9月10日）
  - 第8章 観光庁
  - 第9章 ブリティッシュ・カウンシル
- 資料編  
おわりに

井出敬二『「文化外交」について—歴史的展望、今日的意味と課題』（『文化  
経済学』第6巻第4号、文化経済学会、2009年9月）

- I はじめに
- II 歴史的展望
- III 「文化外交」の課題、困難
- IV 「文化外交」をどう進めたらよいか
- V おわりに

マックス桐島『ハリウッドではみんな日本人のマネをしている』講談社、2009年11月

プロローグ—WBC連覇が象徴するもの

第1章 サムライ・ジャパンが動かしたハリウッド

第2章 日本のエンタメは超クール!

第3章 アフター5はTOKYOスタイル

第4章 アメリカン・ライフ・スタイルを支える日本文化

第5章 素晴らしき「気」の文化

エピローグ—「おつかれさま」を世界共通語に

『新成長戦略（基本方針）～輝きのある日本へ～』閣議決定、2009年12月

1 「新需要創造・リーダーシップ宣言」

2 6つの戦略分野の基本方針と目標とする成果

(1) グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国  
戦略

(2) ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

(3) アジア経済戦略

(4) 観光立国・地域活性化戦略

(5) 科学・技術立国戦略

(6) 雇用・人材戦略

3 豊かな国民生活の実現を目指した経済運営と今後の進め方

小田切博『キャラクターとは何か』筑摩書房、2010年1月

第1章 キャラクタービジネスの近代史

第2章 キャラクタービジネスという問題

第3章 キャラクターの起源と構造

第4章 日本型キャラクタービジネス

付録1 戦後キャラクタークロニクル

付録2 関連資料ウェブサイト紹介

佐々木隆『『クール・ジャパン』とは何か』（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第7輯、2010年3月）

プロローグ

- 1 日本文化ブーム
  - 2 「クール・ジャパン」
- エピローグ

佐々木隆『『文化交流』から『文化外交』へ』（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第7輯、2010年3月）

プロローグ

- 1 『新たな時代の外交と国際交流の新たな役割—世界世論形成への日本の本格的参画を目指して—』
- 2 『「文化交流の平和国家」日本の創造を』
- 3 「文化外交の新発想—みなさんの力を求めています」
- 4 「コンテンツの創造、保護及び活用の促進に関する法律」（コンテンツ産業振興法）
- 5 コンテンツグローバル戦略研究会『コンテンツグローバル戦略報告書 最終とりまとめ』
- 6 観光庁
- 7 『日本ブランド戦略～ソフトパワー産業を成長の原動力に～』

エピローグ

佐々木隆『クール・ジャパン マンガ／アニメの現状と展望について』多生堂、2010年4月

プロローグ

- 第1章 文化としてのマンガ／アニメ
- 第2章 マンガ／アニメの社会的評価
- 第3章 メディア芸術としてのマンガ／アニメ
- 第4章 クール・ジャパンとソフト・パワー

第5章 日本政府とマンガ／アニメ  
エピローグ

(英文文献)

Nye, Jr. Joseph S. *Bound to Lead*. Basic Books, 1990.

Preface

Introduction The Debate About Decline

Part I Power in the Past

1 Power Transition

2 The British Analogy

3 The Postwar Balance of Power

Part II New Challengers?

4 Communist Union

5 Allied Challengers

Part III New Challenges

6 The Transformation of Power

7 Domestic Challenges

8 Future Worlds and American Choices

Notes

Index

Napier, Susan J. *Anime: from "Akira" to "Princess Mononoke"*. New York: Palgrave Macmillan, 2001.

Acknowledgments

Part One Introduction

Why Anime?

Anime and Local/Global Identity

Part Two Body, Metamorphosis, Identity

Akira and Ranma 1/2: The Monstrous Adolescent

Controlling Bodies: The Body in Pornographic Anime

Ghosts and Machines: The Technological Body

Doll Parts: Technology and the Body in Ghost in the Shell

Part Three Magical Girls and Fantasy Worlds

The Enchantment of Estrangement: The Shojo in the World of  
Miyazaki Hayao

Carnival and Conservatism in Romantic Comedy

Part Four Remarking Master Narratives: Anime Confronts History

No More Words: Barefoot Gen, Grave of the Fireflies, and “Victim's  
History”

Princess Mononoke: Fantasy, the Feminine, and the Myth of  
“Progress”

Waiting for the End of the World: Apocalyptic Identity Elegies

Conclusion A Fragmented Mirror

Appendix The Fifth Look: Western Audiences and  
Japanese Animation

Notes

Bibliography

Index

Clements, Jonathan & McCarthy, Helen. *The Anime Encyclopedia.*

Stone Brdige Press, 2001.

Illustrations

Intrduction

Acknowledgements

Publisher's Note

The Anime Encyclopedia

Selected Bibliography

Indexes

\*over 2000 titles described and reviewed from little-known gems to  
Atro Boy, Princess Mononoke, Akira, Giant Robo, Pokémon, and  
Sailor Moon.

McCarthy, Helen. *Hayao Miyazaki: Master of Japanese Animation*.  
Stone Bridge Press, 2002.

Preface

Note to Readers

Captions to Color Pages

Nayao Miyazaki Life and Work

Castle of Cagliostro The Princess and the  
Thief

Nausicaa of The Valley of The Winds Princess  
Messiah

Castle in the Sky Flight to Adventure

My Neighbor Totoro The Beauty of Simplicity

Kikis Delivery Service The Quest for  
Confidence

Porco Rosso The Princess and The Pig

Princess Mononoke The Nature of Love

The Miyazaki Machine More Than just Movies

Filmography with Selected Manga

Notes

Bibliography

*Building America's public diplomacy through a reformed structure and  
Additional resources*. A 2002 Report of the U.S. Advisory Commission  
on Public Diplomacy. 2002

Introduction

The State of Public Diplomacy

Public Diplomacy promotes dialogue, the sharing of ideas, and personal  
and institutional relationships

Structual Reform

Allocating Resources

## Conclusion

McGray, Douglas. “Japan’s Gross National Cool”( *Foreign Policy*.2002

May/June)

The Pokémon Hegemon

Japan’s Posmodern Pop

Meet Hello Kitty, Davos Cat

Why 600lb Wrestler Don’t Travel

Youth With A Yen For Technology

All Medium, No Message?

Morton, Leith. *Modern Japanese Culture*. Oxford University Press, 2003.

Acknowledgments

Introduction

Interpreting Culture in Modern Japan

Yanagita Kunio and the Origins of Culture

Yoshimoto Takaaki and Contemporary Culture

The Literature of Contemporary Japan

Mass Culture: TV, Cinema, and Manga

Epilogue

References

Index

Usui, Mikoto. “ Institutional Bargaining towards Sustainable Development: Public Diplomacy in a World of Networked Minimalism”

( *Japan Negotiation Journal*. Vol.14 No.1. 日本交渉学会、2004年3月)

Business-society bifurcation

Industry’s major umbrella organizations working with the UN system

A new phase of industry—UN partnerships

Towards the Type 2 track of the Johannesburg process  
Two parallel shocases of Type 2 outcome  
Some negotiation-theoretic reflections

Gravett, Paul. *Manga: Sixty Years of Japanese Comics*. Laurence  
King Publishing, 2004.

Introduction: Irresponsible Pictures  
Chapter 01: Catch Up, Overtake  
Chapter 02: Japanese Spirit, Western Learning  
Chapter 03: The Father Storyteller  
Chapter 04: From a Darker Place  
Chapter 05: Boys are Forever  
Chapter 06: Through a Woman's Eyes  
Chapter 07: Developing Maturity

Patten, Fred. *Watching Anime, Reading Manga*. Stone Bridge Press,  
2004.

Foreword by Carl Macek  
Preface  
Part I Anime Fandom  
Part II The Business of Anime  
Part III Artists  
Part IV Japanese Culture in Anime  
Part V Titles  
Index

Nye, Jr. Joseph S. *Soft Power: The Means To Success in World Politics*.  
Public Affairs, 2004.

Preface  
Acknowledgments

Chapter One	The Chaning Nature of Power
Chapter Two	Sources of American Soft Power
Chapter Three	Other's Soft Power
Chapter Four	Wielding Soft Power
Chapter Five	Soft Power and American Foreing Policy
Notes	
Index	

Brian, Bremner and Belson, Ken. *Hello Kitty*. Singapore: 2004.

Acknowledgements
Introduction
Deconstructing Hello Kitty
The God of Kawaii
The Cat Comes Alive
Kitty Goes Abroad
Kitty Kulture
Defiling Hello Kitty
Branding Hello Kitty
Hello Kitty and the Ideology of Pleasure
Index

Usui, Mikoto. “Institutional Bargaining towards Sustainable Development: Public Diplomacy in a World of Networked Minimalism” (『日本交渉学会誌』第14巻第1号、日本交渉学会、2004年3月)

Business-society bifurcation

Industry's major umbrella organizations working with the UN system

A new phase of industry-UN partnerships

Towards the TYPE 2 track of the Johannesburg process

Two parallel showcases of TYPE 2 outcome

Some negotiation theoretic reflections

Melissen, Jan, editor. *The New Public Diplomacy*. New York:  
Palgrave Macmillan, 2005.

Notes on Contributors

Acknowledgements

Introduction: J.Melissen

PART I: The New Environment

Melissen, Jan. 1 The New Public Diplomacy: Between Theory and  
Practice

Hocking, Brian. 2 Rethinking the 'New' Public Diplomacy

PART II: Shifting Perspectives

Ham, Pete van. 3 Power, Public Diplomacy and the Pax Americana

Henrikson, Alan K. 4 Niche Diplomacy in the World Public Arena:  
The Global 'Corners' of Canada and Norway

d'Hooghe, Ingrid. 5 Public Diplomacy in the People's Republic of  
China

Sharp, Paul 6 Revolutionary States, Outlaw Regimes and the  
Techniques of Public Diplomacy

Michalski, Anna. 7 The EU as a Soft Power: The Force of  
Persuasion

PART III: Improving Practice

Schneider, Cynthia P. 8 Culture Communicates: US Diplomacy that  
Works

Olins, Wally. 9 Making a National Brand

Riordan, Shaun. 10 Dialogue-Based Public Diplomacy: A New  
Foreign Policy Paradigm?

Hemery, John. 11 Training for Public Diplomacy: An Evolutionary  
Perspective

Index

Napier, Susan J. *Anime: from "Akira" to "Howl's Moving Castle"*. New York: Palgrave Macmillan, 2005.

Part One

Anime and Global/Local Identity

Part Two:

Body, Metamorphosis, Identity

Akira and Ranma : The Monstrous Adolescent

Controlling Bodies: The Body in Pornographic Anime

Ghosts and Machines: The Technological Body

Doll Parts: Technology and the Body in Ghost in the Shell

Stray: Gender Panics, Masculine Crises, and Fantasy

Part Three

Magical Girls and Fantasy Worlds

The Enchantment of Estrangement: The Shojo in the World of  
Miyazaki Hayao

Now You See Her, Now You Don't: The Disappearing Shojo

Carnival and Conservatism in Romantic Comedy

Part Four

Remaking Master Narratives

Anime Confronts History

No More Words

Barefoot Gen, Grave of Fireflies, and 'Victim's History' Princess  
Mononoke

Fantasy, the Feminine, and the Myth of 'Progress'

Waiting for the End of the World

Apocalyptic Identity

Elegies

Kelts, Roland. *Japanamerica*. New York: Palgrave Macmillan, 2006.

Acknowledgments

Foreword

Chapter 1 May the G-Force Be with You

Chapter 2 Atom Boys

Chapter 3 The Business of Anime

Chapter 4 Toy Story

Chapter 5 Japan's IP Problem

Chapter 6 Strange Transformations

Chapter 7 Cosplay and Otakudom: The Draw of DIY

Chapter 8 Future Shocks

Chapter 9 Anime Appeals

Index

Allen, Matthew and Rumi Sakamoto, editors. *Popular Culture, Globalization and Japan*. New York: Routledge, 2006.

Acknowledgments

Note on Japanese names and words

Allen, Matthew and Sakamoto, Rumi. 1 Introduction: inside-out Japan? Popular culture and globalization in the context of Japan

Part I Reconfiguring Japan

Iwabuchi, Koichi. 2 Japanese popular culture and postcolonial desire for 'Asia'

Allen, Matthew. 3 *South Park* does Japan: going global with Chimpokomon

Dasgupta, Romit. 4 The film *Bishōmen* and Queer(N) Asia Through Japanese popular culture

Ferranti, Hugh de. 5 Japan beating: the making and marketing of professional *taiko* music in Australia

Sunaoshi, Yukako. 6 Who reads comics? *Manga* readership among first-generation Asian immigrants in New Zealand

Part II Becoming global

- Holden, T.J.M. 7 'Sportsports' : cultural exports and imports in Japan's contemporary globalization career
- Sakamoto, Rumi. 8 Writing as out/insiders: contemporary Japan's *ekkyō* literature in globalization
- McLelland, Mark. 9 Japan's original 'gay boom'
- Mōri Yoshitaka. 10 Subcultural unconsciousness in Japan: the war and Japanese contemporary artists
- Penney, Matthew 11 The 'most' crucial education': Saotome Katsumoto, globalization and Japanese anti-war thought
- Roberson, James E. 12 Loochoo Beat(s): music in and out of 'Okinawa'

Hornyak, Timothy N. *Loving the Machine: The Art and Science of Japanese Robots*. Tokyo: Kodansha International, 2006.

Foreword Say Hello to the Future

Chapter 1 Clockwork Teatime

Chapter 2 The Buddha Robot

Chapter 3 100,000 Horsepower Dreams

Chapter 4 Seven-Story Samurai

Chapter 5 Of Wallklers and Workers

Chapter 6 Humanoids at Home

Chapter 7 Anthropomorphic Ambassadors

Chapter 8 Man vs. Manmade

Chapter 9 Android Dawn

Afterword Loving the Machine

Selected Sources And Online Resources

Aknowledgments

Photo Credits

Waller, J. Michael, editor. *The Public Diplomacy Reader*.  
Washington: The Institution of World Politics Press, 2007.

Introduction

Definitions: What is Public Diplomacy, and What Is It For?

An American Tradition

The Power of Ideas and Values

Truth and Trust

Culture Diplomacy

Humanitarian Public Diplomacy

Religion and Public Diplomacy

Broadcasting as a Mission

Words and Language

Psychological Planning and Strategy

Counterpropagand: Don't Let the Other Side

Integration of Intelligence, Public Diplomacy and Public Affairs

Technology Challenges and Opportunities

Citizen Public Diplomats

What the Law says

About the Editor

About The Institute of World Politics

Oliver, Chris. "It's cool: English in Japanese popular culture"

(『立教大学ランゲージセンター紀要』第16号、立教大学ランゲージセンター、2006年7月)

Analysis of response

It's cool

Imitation and adaptation

Occidental longing

Detachment

Conclusion

Koyama-Richard, Brigitte. *One Thousand Years of Manga*.  
Flammarion, 2007.

The Origins of Manga

The Magic of the Scroll: From the Earliest Caricatures to the Onset of  
Of the Comic Strip

The Birth of the Japanese Print: The Golden Ages of Caricature

The Dawn of a New TYPE of Caricature: Japan Opens Up to the West

The Rise of the Comic Strip to the Second World War

The “GOD” of the Modern Manga: The man and his work

Manga today

Selected Portraits of Manga Artists

From Manga to Anime: The Work of Studio Ghibli

Reciprocal Influences

Appendices

McGee, Jennifer. “Romantic, Strange, Cool: Three Images of Japan  
in Western Popular Culture” (『言語文化』第15号、愛知淑徳大学言語コ  
ミュニケーション学部、2007年3月)

Romantic Japan

Strange Japan

Cool Japan

Conclusion

Britton, Joseph. “Japan-Otacool Nation Trends of Japanese Otaku  
Youth” (『大阪府立大学総合教育研究機構第二教室 (外国語教室) 論文集  
言語と文化』第6号、大阪府立大学、2007年3月)

Introduction

Communication

Otaku Natuer

Otaku Interests  
Turning Test  
Massivety Multiplayers Online  
MMORPG  
Moe Culture  
Roleplaying Games(MMORPG)  
Pop Art  
2-Channel  
Mixi  
Conclusion

- MacWilliams, Mark W. editor. *Japanese Visual Culture*. New York: An East Gate Book, 2008.
- Schodt, Frederick L. Foreword: Japan's New Visual Culture  
A Note on Language
- MacWilliams, Mark W. Introduction
- Ito, Kinko. 1. Manga in Japanese History
- Poitras, Gilles. 2. Contemporary Anime in Japanese Pop Culture
- Phillipps, Susanne. 3. Characters, Themes, and Narrative Patterns in the Manga of Osamu Tezuka
- Makela, Lee. 4. From Metropolis to Meteoroporisu: The Changing Role of the Robot in Japanese and Western Cinema
- Takahashi, Mizuki. 5. Opening the Closed World of Shojo Manga
- Shamoon, Deborah. 6. Situating the Shojo in Shojo Manga: Teenage Girls, Romance Comics, and Contemporary Japanese Culture
- Mikhailova, Yulia. 7. Intellectuals, Cartoons, and Nationalism During the Russo-Japanese War
- Nakar, Eldad. 8. Framing Manga: On Narratives of the Second World War in Japanese Manga, 1957-1977
- Gardner, Richard A. 9. Aum Shinrikyo and a Panic About Manga and

Anime

Pandey, Rajyashree. 10. Medieval Genealogies of Manga and Anime Horror

Yamanaka, Hiroshi. 11. The Utopian "Power to Live": The Significance of the Miyazaki Phenomenon

Yoshioka, Shiro. 12. Heart of Japaneseness: History and Nostalgia in Hayao Miyazaki's Spirited Away

Ortabasi, Melek. 13. National History as Otaku Fantasy: Satoshi Kon's Millennium Actress

Berndt, Jaqueline. 14. Considering Manga Discourse: Location, Ambiguity, Historicity

Jaqueline Berndt

Bibliography

About the Contributors

Index

Watanabe, Yasushi and McConnell, David L., editors. *Soft Power Super-Powers*. New York: M.E.Sharpe, 2008.

List of Tables and Figures

Nye Jr. , Joseph S. , Foreword

Acknowledgments

Watanabe, Yasushi and McConnell, David L. McC, Introduction

Part I: Perception

Watanabe, Yasushi, 1. Anti-Americanism in Japan

McConnell, David L., 2. Japan's Image Problem and the Soft Power Solution: The JET Program as Cultural Diplomacy

Part II: Higher Education

Altbach, Philip G., and Peterson, Patti McGill. 3. Higher Education as a Projection of America's Soft Power

Yonezawa, Akiyoshi, 4. Facing Crisis: Soft Power and Japanese Education in a Global Context

Ellen, Masahiko and Horie, Miki. 5. Nurturing Soft Power: The Impact of U.S. University Exchanges

Part III: Popular Culture

Allison, Anne. 6. The Attractions of the J-Wave for American Youth

Nakano, Yoshoko. 7. Shared Memories: Japanese Pop Culture in China

Sugiura, Tsutomu. 8. Japan's Creative Industries: Culture as a Source of Soft Power in the Industrial Sector

Guthrie-Shimizu, Sayuri. 9. Baseball in U.S.-Japanese Relations: A Vehicle of Soft Power in Historical Perspective

Faser, Matthew. 10. American Pop Culture as Soft Power: Movies and Broadcasting

Part IV: Public Diplomacy

Kondo, Seieich. 11. Wielding Soft Power: The Key Stages of Transmission and Reception

Crowell, William G. 12. Official Soft Power in Practice: U.S. Public Diplomacy in Japan

Agawa, Naoyuki. 13. Japan Does Soft Power: Strategy and Effectiveness of Its Public Diplomacy in the United States

Part V: Civil Society

Repeta, Lawrence. 14. Mr. Madison in the Twenty-first Century: Global Diffusion of the People's "Right to Know"

Imato, Katsuji and Kuroda, Kaori. 15. Soft Power of NGOs: Growing Influence Beyond National Boundaries

About the Editors and Contributors

Index

Cowan, Geoffrey and Cull, Nicholas J., editors. *Public Diplomacy in a Changing World*. (The Annals of the American Academy of Political and Social Science) Philadelphia: Sage, March 2008.

Cowan, Geoffrey and Cull, Nicholas J. Preface: Public Diplomacy in a Changing World

Section One: Theorizing Public Diplomacy

Cowan, Geoffrey and Arsenault, Amelia. Moving from Monologue to Dialogue to Collaboration: The Three Layers of Public Diplomacy

Cull, Nicholas J. Public Diplomacy: Taxonomies and Histories

Gilboa, Eytan. Searching for a Theory of Public Diplomacy

Castells, Manuel. The New Public Sphere: Global Civil Society, Communication Networks, and Global Governance

Nye, Jr. Joseph S. Public Diplomacy and Soft Power

Wilson III, Ernest J. Hard Power, Soft Power, Smart Power

Section Two: Tools of Public Diplomacy

Ham, Pter van. Place Branding: The State of the Art

Prince, Monroe E. Hass, Susan, and Margolin, Drew. New Technologies and International Broadcasting: Reflections on Adaptations and Transformations

Scott-Smith, Giles. Mapping the Undefinable: Some Thoughts on the Relevance of Exchange Programs within International Relations Theory

Section Three: National Case Studies of Public Diplomacy and Contemporary

Snow, Nancy. International Exchanges and the U.S. Image

Bustamante, Michael J. and Sweig, Julia E. Buena Vista Solidarity and the Axis of Aid: Cuban and Venezuelan Public Diplomacy

Wang, Yiwei. Public Diplomacy and the Rise of Chinese Soft Power

Gregory, Bruce. Public Diplomacy: Sunrise of an Academic Field

Section Four: Quick Read Synopsis

Public Diplomacy in a Changing World

West, Mark I., ed. *The Japanification of Children's Popular Culture.*

Lanham, Maryland; Toront, Plymouth, UK, 2009.

## Aknowledgments

West, Mark I. Introduction

Pike, Dale 1 Godzilla, the Evolving Monster

Susina, Jan. 2 Reptar: The Rugrats Meet Godzilla

West, Mark I. 3 Invasion of the Japanese Monsters: A Home-Front  
Report

Jackson, Kathy Merlock 4 Hello Kitty in America

Patten, Fred 5 The Allure of Anthroplomorphism in Manga and  
Animé

Elza, Cary 6 We All Live in a Pokémon World: Animated Utopia  
For Kids

Pizzato, Mark 7 Pokémon as Theater: Training the Pocket Monsters  
of Self and Consumersim

Wezorek, Joe 8 Japanese Dominance of the Video-game industry  
and the Future of Interactive Media

Burrill, Derek A. 9 Jet-Set Kids: Mutation/Seduction/Hybridization

Allison, Brent 10 Interviews with Adolescent *Animé* Fans

Levi, Antonia 11 North American Reactions to *Yaoi*

Davis, Bill 12 Paradigm Lost: How the Rising Ubiquity of All  
Things Japanese Ruined the National Pastime for One American  
Father

Flynn, Elizabeth 13 Two Worlds, United by *Animé*

Hatoyama, Hiroaki 14 The Cross-Cultural Appeal of the Characters  
in *Manga* and *Animé*

Okuhara, Reiko 15 The Censorship of Japanese *Animé* in  
America: Do American Children Need to Be Protected from *Dragon  
Ball?*

Ruh, Brian 16 Early Japanese Animation in the United States:  
Changing *Tetsuwan Atomu* to *Astro Boy*

- Farrell, Nicoloe      17 *Inu Yasha: The Search for the Jewel of Four Souls in America*
- Ellis, Bill            18 *Folklore and Gender Inversion in Cardcaptor Sakura*
- Beeck, Nathalie op de. 19 *Anima and Animé: Environmental Perspectives and New Frontiers in Princess Mononoke and Spirited Away*

Galbraith, Patrick W. *The Otaku Encyclopedia*. Tokyo: Kodansha International, 2009.

Foreword

Introduction

Main Texts

Interviews

Akiharabara interview with Morikawa Kaichiro

Anime interview with Yamomoto Yutaka

Comiket interview with Ichikawa Koichi

Cosplay interview with Ayakawa Yunmao

Figures interview with Bome

Gamer interview with Anno Haruna

Idoru interview with Sakuragawa Himeko

Maidol interview with hitomi

Maid interview with Hazuki Ako

Otaku interview with Okadda Toshio

Otaku interview with Murakami Takakeshi

Tarento interview with Nakagawa Shoko

Otaku Essential

Selected Bilibgraphy

Credits

Acknowledgments

Snow, Nancy and Taylor, Philip M., eds. *Routledge Handbook of Public Diplomacy*. (New York: Routledge, 2009)

Introduction

Nancy Snow 1 Rethinking Public Diplomacy

Philip M. Taylor 2 Public Diplomacy and Strategic Communications

Part 1: The Context of Public Diplomacy

Nicholas J. Cull 3 Public Diplomacy before Gullion: The Evolution of a Phrase

Michael Vlahos 4 Public Diplomacy as Loss of World Authority

Ali S. Wyne 5 Public Opinion and Power

Giles Scott-Smith 6 Exchange Programs and Public Diplomacy

John Brwon 7 Arts Diplomacy: The Neglected Aspect of Cultural Diplomacy

Part 2: Public Diplomacy Applications

Armstrong, Matthew C. 8 Operationalizing Public Diplomacy

Kelley, John Robert 9 Between "Take-offs" and "Crash Landings": Situational Aspects of Public Diplomacy

Zaharna, R.S. 10 Mapping out a Spectrum of Public Diplomacy Initiatives: Information and Relational of U.S. Public Diplomacy and Citizen Diplomacy

Part 3: Public Diplomacy Management

Pratkains, Anthony. Influence, and Persuasion Public Diplomacy in International Conflicts: A Social Influence Analysis

Grass, Robert H. and Seiter, John S. Credibility and Public Diplomacy

Rhoads, Kelton. The Culture Variable in the Influence Equation

Kilbane, Mark. Military Psychological Operations as Public Diplomacy

Part 4: State and Non-State Actors in Public Diplomacy

Reinhard, Ketih. American Business and Its Role in Public Diplomacy

Kovach, Peter. The Public Diplomat: A First Person Account

Kiehl, William P. The Case for Localized Public Diplomacy

Heller, Ken S. and Persson, Liza M. The Distinction Between Public Affairs and Public Diplomacy

Snow, Nancy. Valuing Exchange of Persons in Public Diplomacy

Part 5: Global Approaches to Public Diplomacy

Fisher, Ali. Four Seasons in One Day: The Crowded House of Public Diplomacy in the UK

Zollner, Oliver. German Public Diplomacy: The Dialogue of Cultures

Ogawa, Tadashi. Origin and Development of Japan's Public Diplomacy

Rawnsley, Gary D. China Talks Back: Public Diplomacy and Soft Power for the Chinese Century

Szondi, Gyorgy. Central and Eastern European Public Diplomacy: A Transitional Perspective on National Reputation Management

Chitty, Naren. Australian Public Diplomacy

Part 6: Advancing Public Diplomacy Studies

Duffey, Joseph. How Globalization Became U.S. Public Diplomacy at the End of the Cold War

Nelson, Richard and Izadi, Foad. Ethics and Social Issues in Public Diplomacy

Ronfeldt, David and Arquillia, John. Noopolitik: A New Paradigm for Public Diplomacy

Select Bibliography

Index

Ingulsrud, John E. and Allen, Kate. *Reading Japan Cool: Patterns of Manga Literacy and Discourse*. Plymouth: Lexington Book, 2009.

Preface

Acknowledgments

Manga in the Discourse of Japan Cool

The Nature of Manga Discourse

Manga in the History of Literacy  
The Literacy Practices of Reading Manga  
Strategies for Comprehending Manga  
Reasons for Reading Manga  
The Effects of Literacy

Appendix

Glossary

Bibliography

Index

Sugimoto, Yoshino, editor. *The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture*. Cambridge University Press, 2009.

Sugimoto, Yoshio. 'Japanese culture': An Overview

Befu, Harumi. 1 Concepts of Japan, Japanese culture and the Japanese

Kuwayama, Takami. 2 Japan's emic conceptions

Clarke, Hugh. 3 Language

Imaru, Anne E. 4 Family culture

Okano Kari H. 5 School culture

Ross, Mouer. 6 Work culture

Low, Morris. 7 Technological culture

Covell, Stehen. 8 Religious culture

Inoguchi, Takashi. 9 Political culture

Aoki, Hideo. 10 *Bunraku* culture

Ellis, Toshiko. 11 Literary culture

Lihhart, Sepp. 12 Popular leisure

Norris, Craig. 13 Manga, anime and visual art culture

Kitagawa, Junko. 14 Music culture

Waswo, Ann. 15 Housing culture

Ishige, Naomichi 16 Food culture

- Koshihara, Miho 17 Sports culture  
 Inoguchi, Takashi 18 Globalisation and cultural nationalism  
 Norris, Craig and Mouer, Ross. 19 Exporting Japn's culture: From  
 management sytle to manga

Ladd, Fred. *Astro Boy and Anime Come to the Americas*. Jefferson:  
 McFarland & Company, Inc., Publishers, 2009.

Preface by Harvey Deneroff

Preface by Fred Ladd

1. *Astro Boy*: Japan's Tetsuan Atom Lands in New York and Starts  
 the Anime Tsunami
2. A Trip to Japan
3. *Tetsujin 28* and *8th Man*
4. Quixotically Comes Kimba
5. Mighty Mushi: The Decline and Fall
6. More from Mushi
7. *Marine Boy* and *Astro Boy*
8. A Cinderella Process: Turning Black-and-White Animation into  
 Color
9. Those '70s Shows
10. *Sailor Moon*
11. ANIMEnia! The "New" Industry Blooms—Overnight!
12. Boy Meets Giant Robot
13. Religious, Not Litigious
14. Speaking of Dying...
15. Tezuka on Tezuka, Yokoyama on Yokoyama
16. Samurai on Cels
17. Mars: Gateway to Anime?
18. Homogeneous? Yes. Bisexual?
19. Giants among Giants

20. Other Giant Robots I Have Known

21. OVA + VHS + DVD = Home Video

22. Fandom of the Anime

24. What Hath Tezuka Wrought?

Appendix 1: Milestones on the Anime Highway

Appendix 2: Ten Most Frequently Asked Questions